

**三郷町教育委員会**  
**教育に関する事務の点検及び評価報告書**  
**(平成25年度実施分)**

平成26年9月  
**三郷町教育委員会**

# 目 次

はじめに	1
点検・評価の概要	2
町教育委員会の活動状況	3
施策及び事業の点検・評価	7
1. 三郷町第4次総合計画との対応関係	8
2. 平成25年度主要事業と進捗状況	9
3. 点検・評価項目	
学校施設の整備	10
教職員研修の充実	12
就園・就学の支援	14
特別支援教育の推進	16
情報・国際教育の推進	18
いじめ・不登校の対策	20
地域の教育力の向上	22
安全・安心の学校づくり	24
学校給食体制の整備	26
幼児教育の充実	28
放課後児童クラブの充実	30
生涯学習の推進	32
青少年の健全育成	34
人権教育・啓発の推進	36
文化センターの充実	38
文化活動への支援	40
図書館の充実	42
文化財の保護と活用	44
生涯スポーツの推進	46
スポーツ施設の整備	48
学識経験者の知見の活用	50

## はじめに

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の一部改正により、平成20年4月から、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないこととされました。（同法第27条第1項）

同法の規定に基づき、平成25年度実施分の教育に関する事務の点検及び評価を行いましたので、その結果をまとめ報告いたします。

平成26年9月

### 三郷町教育委員会

委員長	森川 征浩
委員	鶴丸 浩
委員	芝崎 善彦
委員	川崎 洋子
委員(教育長)	山野 一明

## 点検・評価の概要

### 1. 点検・評価の目的

町教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況を点検及び評価を行うことで、これまで取り組んできた施策の課題等を明らかにし、効果的な教育行政の推進を図るとともに、その結果を公表することにより開かれた教育行政を推進することを目的としています。

### 2. 点検・評価の対象

点検及び評価は、平成25年度の実績に基づき、「町教育委員会の活動状況」及び「町教育委員会が実施する施策及び事業」を対象としています。

### 3. 点検・評価の実施方法

町教育委員会の活動状況については、平成25年度の教育委員会議の開催状況や審議事項等を総括し点検しました。

町教育委員会が実施する施策及び事業については、「三郷町第4次総合計画」の施策体系ごとに、20の点検評価項目を設定し、それぞれの事務事業の平成25年度の実績について、「事業評価シート」にまとめました。

点検及び評価にあたっては、客観性を確保するため、外部の学識経験を有する方から、指導・助言を受け、報告書をまとめました。

#### 【点検評価有識者】

氏名	所属・役職
米川 英樹	日本学生支援機構理事(大阪教育大学名誉教授)

#### 「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」～抜粋～

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 町教育委員会の活動状況

### 1. 教育委員

役職名	氏名
委員長	森川征浩
職務代理者	鶴丸浩
委員	芝崎善彦
委員	川崎洋子
教育長	山野一明

### 2. 教育委員会議の開催状況

定例会・・・11回

臨時会・・・4回

### 3. 教育委員会議の審議状況

審議事項・・・24件

報告事項・・・21件（各課別報告除く。）

次頁以降に、平成25年度の教育委員会の開催状況及び審議状況を記載しています。審議事項については、「議案」として、その他の報告事項については、「報告」に分類し記載しています。

### 4. 教育委員の活動状況

学校(園)計画訪問実施(年1回)

幼稚園1園、小学校2校、中学校1校

学校行事への参加

入学(園)式、卒業(園)式、運動会、体育祭、文化祭等

各種会議、行事、研修会等への参加

子どもの安全対策連絡会議、学校支援地域本部事業実行委員会、人権教育、青少年育成各種会議、不登校対策連絡会、各種研修・研究大会、成人式等

## 平成25年度 教育委員会議の開催状況について

会 議	平成25年 第4回定例教育委員会	開会日	平成25年4月23日(火)
議案	・三郷町放課後児童クラブ条例施行規則の一部改正について		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会事務局職員の人事異動について</li> <li>・教職員の人事異動について</li> <li>・生駒郡教育長会について</li> <li>・生駒郡地教委連絡協議会について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成25年 第3回臨時教育委員会	開会日	平成25年5月9日(木)
議案	・三郷町学校給食施設環境整備検討委員会設置要綱の制定について		
会 議	平成25年 第5回定例教育委員会	開会日	平成25年5月23日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員の委嘱について</li> <li>・平成25年度町立学校(園)計画訪問の実施日程について</li> <li>・三郷町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について</li> <li>・三郷町立幼稚園の保育料等徴収条例施行規則の一部改正について</li> </ul>		
報告	・各課別報告		
会 議	平成25年 第4回臨時教育委員会	開会日	平成25年6月20日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町不登校対策連絡会設置要綱の制定について</li> <li>・三郷町不登校対策連絡会委員の委嘱又は任命について</li> </ul>		
会 議	平成25年 第6回定例教育委員会	開会日	平成25年7月16日(火)
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員報告について</li> <li>・平成25年度町立学校(園)計画訪問の実施日程変更について</li> <li>・平成25年第2回(6月)三郷町議会定例会について</li> <li>・給食費の滞納状況について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成25年 第7回定例教育委員会	開会日	平成25年8月15日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度町立学校(園)運動会・体育大会の実施日程について</li> <li>・平成26年度三郷町立南畑幼稚園園児募集について</li> <li>・教育に関する事務の点検及び評価報告書(平成24年度実施分)について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成25年度町立学校(園)計画訪問の日程について</li> <li>・財団法人三郷町文化振興財団の経営状況について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		

会 議	平成 2 5 年 第 8 回定例教育委員会	開会日	平成 2 5 年 9 月 2 4 日(火)
議案	・三郷町心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 5 年第 3 回 ( 9 月 ) 三郷町議会定例会について</li> <li>・平成 2 4 年度図書館の利用状況について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成 2 5 年 第 5 回臨時教育委員会	開会日	平成 2 5 年 1 0 月 1 日(火)
議案	・三郷町教育委員会委員長及び職務代理者の選任について		
報告	・平成 2 5 年度全国学力・学習状況調査の結果について		
会 議	平成 2 5 年 第 9 回定例教育委員会	開会日	平成 2 5 年 1 0 月 2 1 日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町心身障害児就学指導委員会への諮問について</li> <li>・三郷町学校支援地域本部事業実行委員会委員の委嘱について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 6 年度三郷町立南畑幼稚園の園児募集状況について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成 2 5 年 第 1 0 回定例教育委員会	開会日	平成 2 5 年 1 1 月 2 5 日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町心身障害児就学指導委員会の答申について</li> <li>・三郷町立学校給食センター運営委員会委員の委嘱について</li> <li>・三郷町立竜田運動公園管理規則の一部改正について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 6 年度三郷町立南畑幼稚園の抽選結果について</li> <li>・「教育委員・町立小中学校」意見交換会について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成 2 5 年 第 1 1 回定例教育委員会	開会日	平成 2 5 年 1 2 月 2 0 日(金)
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校給食材料費の滞納整理状況について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成 2 6 年 第 1 回臨時教育委員会	開会日	平成 2 6 年 1 月 2 0 日(月)
議案	・三郷中学校生徒の出席停止について		

会 議	平成 2 6 年 第 1 回定例教育委員会	開会日	平成 2 6 年 1 月 2 1 日(火)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 5 年度卒業（園）式及び平成 2 6 年度入学（園）式について</li> <li>・三郷町立学校給食センターの設置及び管理運営に関する条例施行規則の一部改正について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 5 年第 4 回（ 1 2 月）三郷町議会定例会について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成 2 6 年 第 2 回定例教育委員会	開会日	平成 2 6 年 2 月 2 4 日(月)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・三郷町文化・スポーツ活動事業助成金交付要綱の制定について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課別報告</li> </ul>		
会 議	平成 2 6 年 第 3 回定例教育委員会	開会日	平成 2 6 年 3 月 2 7 日(木)
議案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校評議員の委嘱について</li> <li>・平成 2 7 年三郷町成人式の開催について</li> </ul>		
報告	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 2 6 年第 1 回（ 3 月）三郷町議会定例会について</li> <li>・平成 2 6 年度予算案の概要について</li> <li>・平成 2 6 年度町立学校（園）の教育課程について</li> <li>・各課別報告</li> </ul>		

## 施策及び事業の点検・評価

### 1．点検・評価の項目

点検及び評価にあたっては、より効率的で実効性のあるものにするため、「三郷町第4次総合計画」を検証し、その施策体系を網羅するように、次頁の表のとおり、20の「点検・評価項目」を設定しています。

点検及び評価の方法については、各事業の課題とその改善方法・結果について、PDCAサイクル( )に従って詳細に記載できるようにするとともに、成果指標と決算額を示すこととし、成果とコストを明らかにするようにしています。

また、昨年度に引き続き、それぞれの事業費について、国や県の補助事業であるものについては、そのことを明記するようにしています。

### 2．点検・評価結果の内容

各項目は、1．基本事項 2．事業概要・目的 3．事業実績・結果  
4．点検評価・課題 5．改善方法・結果 6．今後の計画・方向性に分類しています。

#### 【基本事項】

施策の名称、担当課、総合計画の位置づけ及びその施策が目指す基本的な方向性を記載しています。

#### 【事業概要・目的】

各施策に基づいて教育委員会が実施した事業の概要とその目的を記載しています。

#### 【事業実績・結果】

実施した事業の実績及び結果を記載しています。数値については、平成25年度実績です。（「 」については、補助事業を示します。）

#### 【点検評価・課題】

事業実績及び結果に基づき、事業の達成度、成果及び課題を記載しています。成果については、成果指標と決算額を数値で示しています。

また、課題については、継続的な課題とともに、平成25年度における新たな課題に分類して記載しています。

#### 【改善方法・結果】

継続的な課題に対する改善方法及び結果と新たな課題に対する改善方法の検討について記載しています。

#### 【今後の計画・方向性】

事業の今後の方向性と計画について記載しています。

### PDCAサイクル

計画(PLAN) 実行(DO) 点検(CHECK) 見直し(ACTION)の流れを次の計画に活かすことで、継続的な改善を図るプロセス。

# 三郷町第4次総合計画との対応関係

## 【総合計画の施策方針】

## 【点検・評価項目】

### 第1章 いきいきと笑顔で暮らせるまちをつくろう

#### 第1節 子育て支援の充実

親と子の学びと成長への支援

#### 第2節 学校教育の充実

学校施設の整備

教職員の資質の向上

情報化・国際化に対応した教育環境の整備

学校給食体制の整備

「いじめ」や不登校児童・生徒に対する対策の充実

学校や登下校時の安全確保

地域とともに作る豊かな学校教育

子どもの非行防止

#### 第3節 生涯学習・文化活動の振興

生涯学習推進体制の充実

文化センターの充実

文化活動団体への支援

図書館の充実

#### 第4節 生涯スポーツと健康づくりの振興

自主的なクラブ・サークルやスポーツ団体の育成

青少年スポーツ活動の振興

総合型地域スポーツクラブの育成

障害者のスポーツ活動の充実

総合スポーツ施設の整備

#### 第6節 障害者の自立支援

教育・育成支援の充実

### 第2章 みどり豊かな美しいまちをつくろう

#### 第4節 歴史的環境の保全

文化財の保護と活用

民間団体による調査や歴史にふれる機会づくり

歴史的資料の発掘と保全・管理

### 第4章 みんなで協働するまちをつくろう

#### 第1節 人権の尊重

人権尊重の啓発

相談の充実

学校施設の整備

1.2-

教職員研修の充実

1.2-

就園・就学の支援

特別支援教育の推進

1.6-

情報・国際教育の推進

1.2-

いじめ・不登校の対策

1.2-

地域の教育力の向上

1.2-

安全・安心の学校づくり

1.2-

学校給食体制の整備

1.2-

幼児教育の充実

放課後児童クラブの充実

1.1-

生涯学習の推進

1.3-

青少年の健全育成

1.2-

人権教育・啓発の推進

4.1-

文化センターの充実

1.3-

文化活動への支援

1.3-

図書館の充実

1.3-

文化財の保護と活用

2.4-

生涯スポーツの推進

1.4-

スポーツ施設の整備

1.4-

1. は、総合計画の施策方針と評価項目の対応関係を示す。

2. は、点検・評価項目と総合計画の施策方針の対応関係を示す。

凡例：1.1- = 第1章・第1節の

# 平成25年度主要事業と進捗状況

## 【評価項目】

学校施設の整備

教職員研修の充実

就園・就学の支援

特別支援教育の推進

情報・国際教育の推進

いじめ・不登校の対策

地域の教育力の向上

安全・安心の学校づくり

学校給食体制の整備

幼児教育の充実

放課後児童クラブの充実

生涯学習の推進

青少年の健全育成

人権教育・啓発の推進

文化センターの充実

文化活動への支援

図書館の充実

文化財の保護と活用

生涯スポーツの推進

スポーツ施設の整備

## 【主要事業及び進捗状況】

上段は主要事業の内容、下段は年度計画事業や平成25年度重点項目。

・学校、幼稚園の改修・整備工事

三郷中学校間仕切り改修工事 非構造部材耐震化改修工事設計業務

・小中学校、幼稚園の教職員研修、県実施研修への参加

・小中学校就学援助、幼稚園就園奨励

・特別支援教育の推進、教育相談、特別支援教育就学奨励

特別支援担当者連絡会の充実

・校内LAN・教育用コンピュータの整備、ALT(外国語指導助手)の派遣

・スクールカウンセラー活用、心の相談員、メンタルヘルス相談

不登校対策連絡会の設置

・子ども人権学習支援事業、学校支援地域本部事業

・子ども情報ネットさんごう、さんごう子ども見まもり隊、青色防犯パトロール

通学路危険箇所対策実施

・安全安心の学校給食、食育の推進、給食センターの建替

地産地消の推進 学校給食施設環境整備検討委員会の設置

・地域に開かれた幼稚園、子育て支援

・放課後児童クラブの運営

新三郷北小学校放課後児童クラブの建設

・学習基盤の整備、各種学級の運営

・青少年育成三郷町民会議、親子のつどい、教育講演会、成人式

・識字学級、人権教育地区別懇談会、人権問題学習セミナー、人権相談

・公開講座・文化教室、グループ活動の支援、指定管理

指定管理者の指定(平成24年度から3年間)

・生涯学習の指導者等の活用支援、各種団体への助成

町民文化祭、芸術祭の開催

・情報資料の提供、子ども読書の推進、生涯学習事業の推進

・文化財の保護、文化財の啓発・活用、地域の歴史学習の機会の提供

文化財講演会の実施

・スポーツの推進、軽スポーツ事業

総合型地域スポーツクラブの創設準備

・スポーツ施設の整備、指定管理

指定管理(平成25年度から平成29年度までの5年間)

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	学校施設の整備	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設の耐震性を確保します。</li> <li>誰もが利用しやすい環境とするため、施設の整備を行います。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校施設は、幼児・児童・生徒が1日の大半を過ごす学習・生活の場であり、「生きる力」をはぐくむための教育環境として重要な意義を持つだけでなく、地震などの災害発生時に地域住民の応急避難場所としての役割をも果たすことから、その安全性を確保する。</li> <li>施設の耐震化のみでなく、天井・窓などの非構造部材の耐震性についても安全性を確保する。</li> <li>第2次ベビーブーム時代に建設した学校施設の老朽化が深刻である状況に伴い、再生整備(改修)を優先順位をつけて実施する。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>学校施設の耐震化の状況 対象：非木造2階建以上、又は延べ床面積200㎡以上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>耐震化対象棟数：20棟(南畑幼稚園1、三郷小学校6、三郷北小学校5、三郷中学校8)</li> <li>耐震化率：100%</li> </ul> <p>各学校・園の施設整備状況(主な補修工事等、事業費200,000円以上)</p>																			
	<p>【三郷小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>ベランダ補修・手すり塗装</td><td>892,500</td></tr> <tr><td>雨どい修繕工事</td><td>3,911,250</td></tr> <tr><td>遊具修繕・撤去工事</td><td>869,400</td></tr> <tr><td>レール式ドア修繕・取替工事</td><td>650,000</td></tr> <tr><td>南館3階天井雨漏り修繕工事</td><td>440,738</td></tr> <tr><td>体育館前チップ化舗装工事</td><td>1,769,250</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>537,180</td></tr> <tr><td>合計</td><td>9,070,318</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	ベランダ補修・手すり塗装	892,500	雨どい修繕工事	3,911,250	遊具修繕・撤去工事	869,400	レール式ドア修繕・取替工事	650,000	南館3階天井雨漏り修繕工事	440,738	体育館前チップ化舗装工事	1,769,250	その他補修・修繕工事	537,180	合計	9,070,318	
	工事名称	事業費(円)																		
	ベランダ補修・手すり塗装	892,500																		
	雨どい修繕工事	3,911,250																		
	遊具修繕・撤去工事	869,400																		
	レール式ドア修繕・取替工事	650,000																		
	南館3階天井雨漏り修繕工事	440,738																		
	体育館前チップ化舗装工事	1,769,250																		
	その他補修・修繕工事	537,180																		
合計	9,070,318																			
<p>【三郷北小学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>プールろ過装置修繕工事</td><td>735,000</td></tr> <tr><td>北館廊下壁漏水修繕工事</td><td>1,487,850</td></tr> <tr><td>遊具修繕・撤去工事</td><td>1,545,600</td></tr> <tr><td>児童用トイレブース補修工事</td><td>666,561</td></tr> <tr><td>排水設備改造工事</td><td>12,243,000</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>430,205</td></tr> <tr><td>合計</td><td>17,108,216</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	プールろ過装置修繕工事	735,000	北館廊下壁漏水修繕工事	1,487,850	遊具修繕・撤去工事	1,545,600	児童用トイレブース補修工事	666,561	排水設備改造工事	12,243,000	その他補修・修繕工事	430,205	合計	17,108,216				
工事名称	事業費(円)																			
プールろ過装置修繕工事	735,000																			
北館廊下壁漏水修繕工事	1,487,850																			
遊具修繕・撤去工事	1,545,600																			
児童用トイレブース補修工事	666,561																			
排水設備改造工事	12,243,000																			
その他補修・修繕工事	430,205																			
合計	17,108,216																			
<p>【三郷中学校】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>プール仕切り弁取替工事</td><td>339,150</td></tr> <tr><td>非常階段錆止め塗装工事</td><td>735,000</td></tr> <tr><td>E棟・駐車場フェンス等修繕工事</td><td>430,500</td></tr> <tr><td>楽器室扉取替工事</td><td>682,500</td></tr> <tr><td>間仕切り改修工事</td><td>8,032,500</td></tr> <tr><td>図書室照明・木工室回路増設工事</td><td>348,600</td></tr> <tr><td>正門・通用門取替工事</td><td>682,500</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>1,482,495</td></tr> <tr><td>合計</td><td>12,733,245</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	プール仕切り弁取替工事	339,150	非常階段錆止め塗装工事	735,000	E棟・駐車場フェンス等修繕工事	430,500	楽器室扉取替工事	682,500	間仕切り改修工事	8,032,500	図書室照明・木工室回路増設工事	348,600	正門・通用門取替工事	682,500	その他補修・修繕工事	1,482,495	合計	12,733,245
工事名称	事業費(円)																			
プール仕切り弁取替工事	339,150																			
非常階段錆止め塗装工事	735,000																			
E棟・駐車場フェンス等修繕工事	430,500																			
楽器室扉取替工事	682,500																			
間仕切り改修工事	8,032,500																			
図書室照明・木工室回路増設工事	348,600																			
正門・通用門取替工事	682,500																			
その他補修・修繕工事	1,482,495																			
合計	12,733,245																			
<p>【南畑幼稚園】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事名称</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>もも組トイレ修繕工事</td><td>630,000</td></tr> <tr><td>その他補修・修繕工事</td><td>170,117</td></tr> <tr><td>合計</td><td>800,117</td></tr> </tbody> </table>	工事名称	事業費(円)	もも組トイレ修繕工事	630,000	その他補修・修繕工事	170,117	合計	800,117												
工事名称	事業費(円)																			
もも組トイレ修繕工事	630,000																			
その他補修・修繕工事	170,117																			
合計	800,117																			
<p>公立学校非構造部材耐震事業</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>非構造部材改修工事設計委託</th> <th>事業費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>三郷小学校体育館</td><td>1,936,200</td></tr> <tr><td>三郷中学校体育館</td><td>1,161,300</td></tr> </tbody> </table>	非構造部材改修工事設計委託	事業費(円)	三郷小学校体育館	1,936,200	三郷中学校体育館	1,161,300														
非構造部材改修工事設計委託	事業費(円)																			
三郷小学校体育館	1,936,200																			
三郷中学校体育館	1,161,300																			

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校施設の耐震化率については、100%を達成している。【成果指標】</li> <li>・各施設において、緊急かつ優先的に必要な改修・補修を実施したが、老朽化・経年劣化により、今後さらに改修・補修が必要である。</li> <li>・平成25年度においても、改修・補修に要した経費に対する財源の確保を行い、前年度に引き続き全体の工事費の拡充を図った。【成果指標】</li> <li>・公立学校非構造部材の調査結果、三郷小学校体育館天井及び三郷中学校体育館において改修の必要があることから、平成25年度において改修工事に係る設計書を作成した。</li> <li>・三郷北小学校のクラス数増への対応に向け、新たに放課後児童クラブを建設（契約額：31,290,000円）し、教室の配置を見直すことができるようになった。</li> </ul>					
成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	学校施設耐震化状況（対象施設）	耐震化率	%	100	100	H24 - H25 -
	各学校、園改修・補修工事	補修・改修件数	件	118	97	H24 21,767,728 H25 39,711,896
						H24 H25
						H24 H25
						H24 H25
事業の課題	【継続的な課題】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化・経年劣化による改修・補修が必要な施設があり、随時対応していくこと。特に、三郷中学校については老朽化が進んでおり、保護者からも施設整備の要望が多い。財源の確保に努めながら、随時補修・改修を進める。</li> <li>・非構造部材の耐震診断を行った結果、三郷小学校の体育館天井及び三郷中学校の体育館窓ガラス等に支障があることが判明。本年度において設計書を作成した。来年度に工事が行えるよう進める必要がある。</li> </ul>					
-----						
【新たな課題】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在の生活においてトイレは洋式が中心となってきており、特に低学年では和式トイレの使用方法がわからない子どもたちは数多くいる。学校内のトイレの洋式化を望む声がでている。</li> </ul>						

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・改修・補修がこれまで以上に必要になってくることが見込まれるため、財政状況を勘案しながら、必要な整備を進める。三郷中学校については、抜本的な見直しも検討する。</li> <li>・平成26年度において、円滑に非構造部材改修工事を行えるよう、学校や体育館の利用者に協力を得ながら進めていく。</li> </ul>					
-----						
【新たな課題に対する改善方法の検討】						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・早急に改修の必要があるが、財源の確保及び実施時期などを考慮しながら、改修に向けて取り組む。</li> </ul>						

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も、財政状況を勘案しつつ緊急性・優先性を鑑み、必要な整備を進める。</li> <li>・平成26年度は、三郷小学校では遊具の改修工事、体育館屋根防水工事、三郷北小学校では、体育館床張替工事、放送機器購入、三郷中学校では学習室スライディングウォール取付などを整備していく。また、非構造部材の改修が必要である三郷小学校及び三郷中学校体育館の整備も行う。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	教職員研修の充実	担当課名	教育総務課 (南畑幼稚園)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが健やかに成長できるよう、また、きめ細やかな指導で学力の向上を図るよう、県などの関係機関との連携協力により研修を実施し、教職員の資質向上に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初任者の教諭に対し、1年間の研修を実施して実践的指導力と使命感を養うとともに幅広い知見を得させる。県の研修に加え、町においても年2回研修を(生駒郡地教委主催で)実施する。</li> <li>発達障害等の特別な教育的支援を必要とする幼児・児童・生徒に対する総合的な支援体制の充実を図るため、生駒市と生駒郡が合同で研修会を実施する。</li> </ul> <p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生駒郡幼稚園教育研究会及び奈良県幼稚園教育研究協議会において、幼児一人ひとりへのきめ細やかな対応を学び、保育内容の充実を図るため各種研修会を行う。</li> <li>幼稚園教員研修及び特別支援教育研修を随時行い、幼稚園教育と小学校教育との円滑な接続を図り、幼小連携をより充実させるとともに教員の資質向上を図る。</li> <li>幼児期教育と小学校教育との円滑な接続を図り、幼小連携をより充実させるための研修会を行う。</li> </ul> <p>県実施研修への参加【県費】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>奈良県が実施する各種教職員研修に積極的な参加を促す。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>小中学校</p> <p>【初任者研修】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修対象者 4人             <ul style="list-style-type: none"> <li>第1回生駒郡地教委主催初任者研修 内容 フィールドワークや体験活動等とおして、平群町の歴史と文化を学び教育活動に生かすとともに、互いの交流を深める。</li> <li>第2回生駒郡地教委主催初任者研修 内容 指導力及び授業力の向上を目指して、グループ討議、資料づくり、プレゼンテーションなどの手法による研修を深めることにより、教員としての資質を高める。</li> </ul> </li> </ul> <p>【特別支援教育研修会】</p> <p>期日 平成25年8月1日(木)</p> <p>場所 生駒市北コミュニティセンター はばたきホール</p> <p>内容 発達障害のある子どもの理解と支援についての講演会を実施。</p> <p>参加人数：三郷町から14人(全体で351人)</p> <p>幼稚園</p> <p>【生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会】</p> <p>内容 全体研修(講演)、各種部会研修(実践事例による研究協議)、特別支援コーディネーター研修、公開保育</p> <p>回数 全体研修：郡2回、県1回 部会研修：(教育課程部会)郡4回、県1回 (放送教育部会)郡5回、県3回 特別支援コーディネーター研修：郡2回、県3回 公開保育：郡1回、県1回</p> <p>【幼稚園教員研修】</p> <p>園内及び新任研修</p> <p>内容 外部講師による保育内容の点検及び指導</p> <p>回数 年間3回</p> <p>職員研修</p> <p>内容 毎週水曜日の保育終了後、職員研修を実施し、幼小連携や保育内容等の役割の共通理解に努めた。</p> <p>回数 年間を通じておおそ週1回</p> <p>初任者研修</p> <p>参加人数：1人</p> <p>その他、随時公開保育を行ない、初任者の指導内容の充実を図った。</p> <p>県実施研修への参加(県費)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>初任者研修への参加 参加人数：4人</li> <li>教職経験に応じたステージ別研修や職務や今日的課題等に対応した研修への参加 参加人数：40人(幼稚園7人、三小18人、北小15人)</li> </ul>
---------	---

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>小中学校</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒郡教委主催の初任者研修については、授業展開や学級経営の仕方、生徒との接し方等の実践的なものであり、学校内の諸活動が活性化された。【成果指標】</li> <li>アンケート結果：現場でのリアルタイムな指導が新規採用教員の成長にとって有効な手立てである、他学級参観や学校訪問などの機会が増えると良いといった意見がある一方、初任者指導のみの研修時間の確保は難しいといった意見もあった。</li> <li>・特別支援教育研修会：三郷町からの参加者は昨年度から6人減となった。【成果指標】</li> <li>・ステージ別研修：幼小中全教職員数136人中、約29%の教職員40人が受講し、講座数は延べ66講座であった。【成果指標】</li> </ul> <p>幼稚園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会では、各市町村の情報交換、実践交流の場となり、研究協議の中から取り組みの反省と評価ができた。【成果指標】</li> <li>・幼稚園教員、特別支援教育研修では、講師の講評の中から幼小連携や保育内容について、改善するポイントを見出すことができた。また、特別支援を必要とする幼児の対応について、療育との連携により、職員間で学び合い共通理解を深めることができた。</li> </ul> <p>教員研修における人権教育について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教員自身の人権感覚・意識を高めるとともに、子ども達一人ひとりを大切にせる教育活動に役立てた。また、その他関係機関・団体の各種研修会にも参加した。</li> </ul>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	初任者研修	研修回数(町実施)	回	2	2	H24 - H25 -
特別支援教育研修会	参加人数	人	20	14	H24 - H25 -	
生駒郡幼稚園教育研究会・奈良県幼稚園教育研究協議会	研修回数	回	17	23	H24 - H25 -	
ステージ別研修	参加人数	人	26	40	H24 - H25 -	
					H24 H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園については、限られたスタッフ人員で、より質の高い保育・教育内容の充実が求められる。</li> <li>・幼小連携については、幼稚園と小学校の校種の違いによる教育内容や指導方法等、幼児が小学校生活の変化に対応できるよう教員に適切な指導が求められる。</li> </ul>
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育研修会への参加者が2年連続減少している。</li> </ul>

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園については、今後も教員間の情報共有を図りつつ、自己研鑽を積み重ねることが重要である。</li> <li>・幼小連携については、幼稚園教育と小学校教育との滑らかな接続を図るため、教員相互の情報交換が重要である。</li> </ul>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援学級の児童・生徒が増加傾向にある中で、校務との兼ね合いもあるが、積極的な参加を促していくことが必要である。</li> </ul>

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可) (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
・今後も研修内容を精査しながら、教職員の資質向上を図る。		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	就園・就学の支援	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	・経済的理由により、教育の機会均等が損なわれることがないよう、各種補助事業を実施し、保護者の経済的負担の軽減を図ります。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	小中学校就学援助【国庫補助事業】 ・経済的な理由等によって、子どもたちの就学が妨げられることのないよう、学用品費や学校給食費などを援助する。 幼稚園就園奨励【国庫補助事業】 ・保護者負担の軽減及び公立・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正を図るとともに、幼稚園教育の普及充実を図るため、町立幼稚園の保育料の減免及び私立幼稚園への就園奨励費補助金の交付を行う。
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	小中学校就学援助【国庫補助】 【要保護児童生徒就学援助費】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>16</td> <td>50,136</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>11</td> <td>180,000</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>28</td> <td>230,136</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	三郷小学校	16	50,136	三郷北小学校	1	0	三郷中学校	11	180,000	合計	28	230,136	修学旅行費のみ	【要保護児童生徒就学援助費国庫補助金】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>115,000</td> </tr> </tbody> </table>	補助金額(円)	115,000	三郷小学校 25,000円 三郷中学校 90,000円													
	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)																																
	三郷小学校	16	50,136																																
	三郷北小学校	1	0																																
	三郷中学校	11	180,000																																
	合計	28	230,136																																
	補助金額(円)																																		
	115,000																																		
	【準要保護児童生徒就学援助費】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>学校名</th> <th>認定者(人)</th> <th>就学援助費(円)</th> <th>給食費(円)</th> <th>援助費合計(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校</td> <td>78</td> <td>1,842,739</td> <td>3,239,767</td> <td>5,082,506</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校</td> <td>41</td> <td>824,855</td> <td>1,739,660</td> <td>2,564,515</td> </tr> <tr> <td>三郷中学校</td> <td>76</td> <td>4,117,804</td> <td>3,263,335</td> <td>7,381,139</td> </tr> <tr> <td>国公立中学校</td> <td>1</td> <td>169,930</td> <td>0</td> <td>169,930</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>196</td> <td>6,955,328</td> <td>8,242,762</td> <td>15,198,090</td> </tr> </tbody> </table>	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)	三郷小学校	78	1,842,739	3,239,767	5,082,506	三郷北小学校	41	824,855	1,739,660	2,564,515	三郷中学校	76	4,117,804	3,263,335	7,381,139	国公立中学校	1	169,930	0	169,930	合計	196	6,955,328	8,242,762	15,198,090			
	学校名	認定者(人)	就学援助費(円)	給食費(円)	援助費合計(円)																														
三郷小学校	78	1,842,739	3,239,767	5,082,506																															
三郷北小学校	41	824,855	1,739,660	2,564,515																															
三郷中学校	76	4,117,804	3,263,335	7,381,139																															
国公立中学校	1	169,930	0	169,930																															
合計	196	6,955,328	8,242,762	15,198,090																															
幼稚園就園奨励【国庫補助】 ・町内に在住し、私立幼稚園に就園する3歳児から5歳児の保護者を対象に、所得に応じて補助金を交付。	【私立幼稚園就園奨励費補助金】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>受給者(人)</th> <th>就園奨励費(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>70</td> <td>7,708,760</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>60</td> <td>5,956,560</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>54</td> <td>5,250,400</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>184</td> <td>18,915,720</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	受給者(人)	就園奨励費(円)	3歳児	70	7,708,760	4歳児	60	5,956,560	5歳児	54	5,250,400	合計	184	18,915,720	【幼稚園就園奨励費補助金】 <table border="1"> <thead> <tr> <th>補助金額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4,657,000</td> </tr> </tbody> </table>	補助金額(円)	4,657,000															
園児区分	受給者(人)	就園奨励費(円)																																	
3歳児	70	7,708,760																																	
4歳児	60	5,956,560																																	
5歳児	54	5,250,400																																	
合計	184	18,915,720																																	
補助金額(円)																																			
4,657,000																																			
・町立幼稚園の保育料を負担することが困難な保護者に対して、減免措置を行った。 【町立幼稚園保育料の減免】	<table border="1"> <thead> <tr> <th>園児区分</th> <th>減免者数(人)</th> <th>減免額(円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3歳児</td> <td>1</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>4歳児</td> <td>2</td> <td>40,000</td> </tr> <tr> <td>5歳児</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3</td> <td>75,000</td> </tr> </tbody> </table>	園児区分	減免者数(人)	減免額(円)	3歳児	1	35,000	4歳児	2	40,000	5歳児	0	0	合計	3	75,000																			
園児区分	減免者数(人)	減免額(円)																																	
3歳児	1	35,000																																	
4歳児	2	40,000																																	
5歳児	0	0																																	
合計	3	75,000																																	

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助は、ほぼ前年度並みに小中学校合わせて224名を認定し、援助を必要とする保護者の経済的負担を軽減できた。【成果指標】</li> <li>・認定率については、前年度の12.7%から12.5%へと推移している。【成果指標】</li> <li>・幼稚園就園奨励費については、人数は前年度と比べて3人減少で、約73万円の増額となり、保護者の経済的負担を軽減できた。【成果指標】</li> </ul>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)	
	小中学校就学援助		認定者数	人	220	224	H24
認定率			%	12.7	12.5	H25	15,428,226
幼稚園就園援助		受給者及び減免者数	人	190	187	H24	18,179,600
						H25	18,915,720
						H24	
						H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助申請書について、教育委員会が住民基本台帳情報を確認することに同意を得るための一文を入れてあることから、添付書類（所得証明書等）の簡素化についても検討する必要がある。また、就園奨励申請書についても併せて検討する必要がある。</li> </ul>
	<p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者より、幼稚園に就園する際の条件に、兄弟姉妹の優先枠を復活してほしいとの要望がでている。</li> </ul>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・就学援助及び就園奨励申請書の添付書類（所得証明書等）について、本年度より添付を不要とし、簡素化を図った。</li> </ul>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公平性の兼ね合いがあり、以前に兄弟姉妹の優先枠を廃止した経緯があるが、兄弟姉妹が別の幼稚園等に通園する状況となる保護者の立場に立ち、再度検討する。</li> </ul>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・支給方法等については、今後も各学校・幼稚園とも協議していく。</li> <li>・保護者の立場に立ち、現在の就園条件を見直していく。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	特別支援教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第6節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校教育において、特別に支援を要する幼児・児童・生徒について、誰もがともに学べる「なかまづくり」の教育と体制の整備を進めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p><b>特別支援教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>幼児・児童・生徒一人ひとりの教育ニーズを把握し、その持っている力を高め、生活や学習上の課題を改善又は克服するため、適切な指導及び必要な支援を行う特別支援教育を推進する。</li> </ul> <p><b>教育相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>就学前の幼児を持つ保護者に対し、障がい等の状況に応じた適切な教育が受けられるよう教育相談を行う。</li> </ul> <p><b>特別支援教育担当者連絡会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中学校の連携を目的に、情報交換や就学指導のあり方を検討するため、定期的に担当者連絡会を開催。</li> </ul> <p><b>特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援学級在籍児童・生徒の保護者に対し、その経済的負担の軽減を図るため、世帯の収入額が一定額以下である場合、学用品費や学校給食費などの一部を援助する。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p><b>特別支援教育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援を必要とする幼児・児童・生徒を支援するため、町費による臨時講師等（常勤・非常勤）を各学校に配置した。</li> </ul> <p><b>【配置講師数】</b></p> <table> <tr><td>南畑幼稚園</td><td>4人</td></tr> <tr><td>三郷小学校</td><td>4人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>3人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>2人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>13人</td></tr> </table> <p>正規職員(三郷中学校2人)・再任用職員(三郷北小学校1人)を除く。</p> <p><b>教育相談</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年7月に就学前の幼児を持つ保護者を対象として、三郷町文化センターにおいて生駒郡合同の教育相談会を行った。</li> </ul> <p><b>【相談人数】</b></p> <table> <tr><td>三郷小学校区</td><td>8人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校区</td><td>6人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>14人</td></tr> </table> <p><b>特別支援教育担当者連絡会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>特別支援教育の充実をはかるため、情報交換と小中学校の連携を図る場として、平成21年度から小中学校の特別支援担当教員及び教育委員会事務局担当者による連絡会議を立ち上げ、平成25年度においても定期的に連絡会を開催した。(年間4回)</li> </ul> <p><b>特別支援教育就学奨励費【国庫補助】</b></p> <p><b>【就学奨励費認定者数】</b></p> <table> <tr><td>三郷小学校</td><td>15人</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>17人</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>7人</td></tr> <tr><td>合計</td><td>39人</td></tr> </table> <p>平成25年度決算額：1,417,365円(補助額467,000円)</p> <table> <tr><td>(内訳)三郷小学校</td><td>513,100円</td></tr> <tr><td>三郷北小学校</td><td>550,795円</td></tr> <tr><td>三郷中学校</td><td>353,470円</td></tr> </table>	南畑幼稚園	4人	三郷小学校	4人	三郷北小学校	3人	三郷中学校	2人	合計	13人	三郷小学校区	8人	三郷北小学校区	6人	合計	14人	三郷小学校	15人	三郷北小学校	17人	三郷中学校	7人	合計	39人	(内訳)三郷小学校	513,100円	三郷北小学校	550,795円	三郷中学校	353,470円
南畑幼稚園	4人																														
三郷小学校	4人																														
三郷北小学校	3人																														
三郷中学校	2人																														
合計	13人																														
三郷小学校区	8人																														
三郷北小学校区	6人																														
合計	14人																														
三郷小学校	15人																														
三郷北小学校	17人																														
三郷中学校	7人																														
合計	39人																														
(内訳)三郷小学校	513,100円																														
三郷北小学校	550,795円																														
三郷中学校	353,470円																														

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする幼児・児童・生徒が年々増加しているため、県の配置基準に加えて、町費による講師を各学校に配置している。平成25年度は常勤講師を13人を配置した。【成果指標】</li> <li>・就学前の相談では、保護者の就学に対する不安を解消するため、事務局と特別支援担当の教員が相談を行うことにより、園での生活の仕方や専門機関への斡旋等、幼児の現状に応じたアドバイスができた。平成25年度も昨年度並みの相談件数があり、保護者のニーズは高いと考えられる。【成果指標】</li> <li>・特別支援担当者連絡会議は、年間4回開催し、小中学校間の情報交換との連携を図った。【成果指標】</li> <li>・特別支援教育就学奨励費では、昨年度から受給者は1人の減となったが、決算額では14,147円の増となった。特別支援学級に在籍する保護者の経済的負担を軽減できているものとする。【成果指標】</li> </ul>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)	
	特別支援教育の推進	配置講師数	人	13	13	H24	33,055,665
						H25	32,378,530
	教育相談	相談人数	人	12	14	H24	-
						H25	-
	特別支援教育担当者連絡会	開催回数	回	6	4	H24	-
					H25	-	
特別支援教育就学奨励費	就学奨励費認定者数	人	40	39	H24	1,403,218	
					H25	1,417,365	
					H24	-	
					H25	-	

事業の課題	【継続的な課題】
	<p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>特別な支援を必要とする児童・生徒に対しては、授業内容やその時の子どもたちの体調等により、別室にて適切な支援が必要となってくる機会が増えてきていることから、専属の講師を配置する必要がある。</p>

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】
	<p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>支援が行える教室を確保し、両小学校それぞれに講師を増員できるよう予算等の要求・調整を図る。</p>

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・乳幼児を含めて子どもたちや保護者等の実態や状況の変化に対応し、総合的なサポート体制を確立する。</p>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	情報・国際教育の推進	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内におけるLANの整備を進めるとともに、教育用コンピュータの充実に努めます。</li> <li>・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、ALT制度の充実に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>校内LAN・教育用コンピュータの整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校については平成19年度に、中学校については平成21年度に整備した教育用コンピュータ及び校内LANを活用し、積極的に情報教育を推進する。</li> </ul> <p>ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生きた外国語の学習や異文化への理解を養うため、各小中学校へALTの派遣を行う。</li> <li>・南畑幼稚園においても、幼児期からの国際理解や英語教育を図るため、ALTとの交流会を行う。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	教育用コンピュータ等の設置状況				
		設置台数(台)			
	種 類	三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	合計
	サーバ	1	1	2	4
	クライアントPC(デスクトップ)	20	15	42	77
	クライアントPC(ノート)	1	6	6	13
	プリンタ	10	10	7	27
	プロジェクタ	1	1	3	5
		三郷小学校	三郷北小学校	三郷中学校	
	整備年度	平成19年度	平成19年度	平成21年度	
設置場所	南館2階パソコンルーム	北館2階コンピュータ教室	B棟4階コンピュータ室		
LAN整備	各教室	各教室	各教室		
	LAN: Local Area Networkの略語。特定の場所や同一組織内での情報通信ネットワーク。				
	ALT 派遣				
	・年間を通じて三郷中学校に1名、各小学校及び幼稚園に1名の計2名のALTの派遣を行い、英語学習・異文化理解等の活動を行った。活動時間等は下表のとおり。				
		対象	クラス数<A>	年間時間数(時間)<B>	合計時間数(時間)<A> x <B>
	三郷中学校	1年生	6	35	630
		2年生	6	35	
		3年生	6	35	
	三郷小学校	5年生	3	35	245
		6年生	4	35	
	三郷北小学校	5年生	3	35	210
		6年生	3	35	
	南畑幼稚園	年長	1	8	8
	合 計		32	253	1,093
	ALT: Assistant of Language Teacherの略語。学校で外国語授業の補助を行う外国語指導助手。				

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>教育コンピュータの設置状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成19年度から平成21年度までの整備期間で、パソコン90台、周辺機器36台を新規設置し、町内すべての学校で情報教育の充実を図るための環境が整った。</li> </ul> <p>ALT派遣</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度より、新学習指導要領が完全実施され、小学校5・6年生の外国語活動が必須となったことから、小学校において各クラス年間35時間（授業コマ数）の派遣時間を引き続き確保。</li> <li>平成23年度より中学校で1名、幼稚園・小学校で1名の合計2名体制へと変更し、全校の年間合計授業時間においては、前年度を上回る1,093時間となったが、ALT派遣に係る経費を確保することができた。</li> </ul> <p>【成果指標】</p>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
		教育用コンピュータの整備	新PC設置済み台数 小中学校合計	台	90	90
	ALT派遣	ALTによる授業時間 幼稚園・小中学校合計	時間	1,058	1,093	H24 7,460,250 H25 7,483,770
						H24 H25
						H24 H25
						H24 H25

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>発達段階における子どもにとって、英語の興味を引くような適切な授業を行えるALTの派遣を継続して行う必要がある。また、派遣されるALTによって授業の理解度などに格差が生じないように継続的に検討を行う。</li> <li>小学校の教育用コンピュータについては、平成19年度設置以降6年が経過している。さらなる情報教育の充実を図るためにも、入替を検討する必要がある。</li> </ul> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ALT講師の授業の質に格差がでることに対し、平成25年度より経験のある講師に依頼することで改善を図ってみたが、いまだ授業の格差が埋まらない状況であったため、再度検討する必要がある。</li> </ul>
-------	---

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>派遣業者に対し、派遣されるALTへの社員教育・研修の徹底を求め、適切な講師の派遣を要望した結果、平成25年度は新たな講師を派遣する方向となった。</li> <li>三郷小学校、三郷北小学校、三郷中学校のコンピュータについて、財政状況を勘案しながら計画的に入れ替えることを検討する。</li> </ul> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>再度ALT講師への社員教育、研修の徹底を求めるとともに、適切な講師を要望した結果、以前に本町でALT講師として好評であった講師を配置する方向となった。</li> </ul>
------------	---

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>情報教育については整備済みの校内LAN・パソコン環境を再度見直し、情報教育を推進するための環境を整える。</li> <li>今後も財政状況を勘案しながら派遣回数の検討を加える。また、児童・生徒が英語に興味を持つような指導を行えるALTの派遣を常に意識して事業を進めていく。</li> </ul>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	いじめ・不登校の対策	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>小中学生を対象とした専門医によるメンタルヘルス相談や、中学校への心の相談員の配置による「いじめ」や不登校児童生徒の早期発見・早期指導の実施を継続します。</li> <li>教職員経験者など地域の人材の参加を得ながら、多様な教育の展開ができるよう、広域的な連携を含めた支援のあり方を検討します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(P.L.A.N)

事業概要・目的	<p>いじめ・不登校対策として、奈良県が実施するスクールカウンセラー事業を活用しながら、町独自で心の相談員を配置するとともに、専門機関にメンタルヘルス相談業務を委託し、児童生徒の悩みに対して、適切かつ迅速に対応し、児童生徒が安心して学習に取り組むことができるよう相談体制の充実に努める。</p> <p><b>スクールカウンセラー活用事業【県費】</b> いじめや不登校などの対策として、学校におけるカウンセリング機能を強化するため、臨床心理士などの資格を持ったスクールカウンセラーを中学校に配置する。</p> <p><b>心の相談員</b> 生徒の悩み、不安、ストレスに対し、気軽にカウンセリングできる心の相談員を中学校に配置する。</p> <p><b>メンタルヘルス相談業務委託</b> 園児及び小中学生とその関係者のメンタル面での相談業務を専門機関に委託し、健やかな心身の保持増進に努める。</p> <p><b>不登校対策連絡会</b> 町立の小中学校における不登校問題を総合的に検討し、不登校の防止及び指導に努め、児童及び生徒の健やかな育成を推進する。</p>
---------	---

## 3 事業実績・結果(D.O)

事業実績・結果	<p><b>スクールカウンセラー活用事業【県費】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三郷中学校へ1人配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間勤務日数 17日</li> <li>相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> <li>児童生徒：34回</li> <li>保護者：2回</li> <li>教職員：36回</li> <li>合計：72回</li> </ul> </li> <li>主な相談内容 発達障害(の疑い)、学校生活、不登校問題など 児童生徒へのカウンセリングのほか、教職員などへの助言も行った。 その他、全校生徒を対象にストレスチェックのアンケートを実施。</li> </ul> </li> <li>心の相談員 <ul style="list-style-type: none"> <li>三郷中学校へ1人配置 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間勤務日数 96日</li> <li>相談ケース数 161回</li> <li>主な相談内容 不登校問題、学校生活全般、本人に関わる問題など</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>メンタルヘルス相談 <ul style="list-style-type: none"> <li>園児及び児童生徒、保護者、教職員の相談に対応するため、ハートランドしぎさんに委託し、専門機関による相談を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>相談ケース数 <ul style="list-style-type: none"> <li>園児児童生徒：89回</li> <li>保護者：37回</li> <li>教職員：31回</li> <li>合計：157回</li> </ul> </li> </ul> </li> </ul> </li> <li>不登校対策連絡会 <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年6月26日に設置。不登校の児童生徒の実態把握とその後の現況報告並びに対応について協議・検討を行った。 <ul style="list-style-type: none"> <li>年間開催回数 8回</li> </ul> </li> </ul> </li> <li>不登校を語る保護者の集い <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は3回実施。天理大学大学院教授から、保護者に様々な助言がなされた。 <ul style="list-style-type: none"> <li>主な内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもが登校に向けてエネルギーをためていることをまわりの大人が理解し、待つということが大切。</li> <li>保護者の悩みを誰かに聞いてもらうことで、子どもに良い影響を及ぼす。</li> </ul> </li> <li>参加人数 21人 延べ人数</li> </ul> </li> </ul> </li></ul>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度の不登校児童生徒数は、対前年度比9人減の34人であった。 (不登校：年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的な理由による者を除いたもの)</li> <li>いじめや不登校、その他生徒の抱える問題が多様化してきた中で、三郷中学校では、 専門的なカウンセリングができるスクールカウンセラーの配置【成果指標】 生徒の悩みを気軽に相談できる心の相談員の配置【成果指標】 専門機関での相談を行うためのメンタルヘルス相談業務の委託【成果指標】 を実施し、生徒の状況に応じた相談を行った。</li> <li>中学校では、全校生徒を対象に「こころとからだの健康チェック」を年2回実施した。教育相談部に属するカウンセラーが、各学年の気になる生徒に関して各学年相談部と情報交換を密にし、スムーズな相談の継続ができるように工夫していただいた。ストレス度がかかなり高い生徒に関しては、担任や教育相談部から声をかけることで定期的なカウンセリングにつなげることができ、生徒の間でも相談室が「いつ話をしにいつでもいい場所」としての認識がより広まった。</li> <li>小学校においては、児童の悩み等を教員が親身になって相談に乗り、必要に応じてメンタルヘルス相談を紹介し、専門機関での相談へと引き継ぐ体制をとっている。また、急を要する場合には、児童の心理面での不安定さを改善させるため、中学校に配置している心の相談員を小学校へ派遣し早期解決につなげた。</li> <li>スクールカウンセラーや心の相談員の相談回数が増加しているのは、気軽に相談できる雰囲気を作られ、早期段階での生徒の悩み等解消に向けた教員と相談員との連携が取れたため。保護者からの相談に対しても、カウンセラー等に相談しやすい状況が作られたことで、教員が余裕をもって関わることができた。</li> <li>メンタルヘルス相談回数は、対前年度約3倍の157回であった。増加の主な要因として幼稚園における発達の問題に関する相談回数が大きく増えたことが挙げられる。</li> <li>心の相談員報酬の決算額は、昨年度より241,295円の増加となった。</li> <li>不登校の児童及び生徒の実態把握、指導体制の整備、家庭との連携強化について協議及び検討を行った。 【成果指標】</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	スクールカウンセラー(県費)	相談回数	回	70	72	H24 - H25 -
心の相談員	相談回数	回	146	161	H24 904,120 H25 1,145,415	
メンタルヘルス相談業務委託	相談回数	回	52	157	H24 600,000 H25 570,000	
不登校対策連絡会	開催回数	回	-	8	H24 - H25 1,193,880	

事業の課題	<p>【継続的な課題】 不登校児童・生徒などを孤立させない対策として、不登校対策連絡会を引き続き実施するとともに、通学支援・学習支援を継続していく必要がある。 カウンセラーや相談員は中学校に配置されており、小学校でのケースにも充分対応できるような体制づくりを検討する。</p>
	<p>【新たな課題】 ・急を要する場合だけでなく、定期的に相談員を小学校へ派遣して欲しいという要望がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 不登校対策連絡会については、教育委員会及び学校関係者や要保護児童対策地域協議会、行政関係機関等との連携・協力のもと、的確な対策を検討する。 ケースに応じてカウンセラーや相談員を小学校にも派遣する等、柔軟な対応を検討する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】 ・相談員を増員し小学校にも配置する、または、現在ハートランドしぎさんにおいて定期的に行なっているメンタルヘルス相談業務を小学校において行えるよう協議する。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も不登校問題をはじめ、児童・生徒のさまざまな課題に対応するため、相談体制の充実を図るとともに、状況に応じて、スクールソーシャルワーカー等の活用も検討する。</li> <li>不登校対策として専属配置した指導主事を中心に不登校対策の取り組みを充実させていく。また、保護者のつながりを深める支援を行っていく。</li> </ul>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	地域の教育力の向上	担当課名	教育総務課 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域と学校が協力しながら、地域の文化や人材を活かした体験学習を継続します。</li> <li>まち全体が学びの場となるまちづくりをめざして、子どもたちの学習に提供できる場所や資源などの掘り起こしとネットワークの体制強化を図ります。</li> <li>学校の環境美化や緑化などについて、各種団体や地域ボランティアの参加が得られるように図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>子ども権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>少子化や核家族化の進行、就労形態の多様化及び家庭や地域の子育て意識の低下など、子どもを取り巻く環境の変化を踏まえ、子どもの様々な活動を支援する事業を実施し、地域の教育力の向上を図る。</li> <li>各小中学校において、地域ボランティアの指導のもと、和太鼓、茶華道、ゲートボールなどさまざまな体験学習を実施する。</li> </ul> <p>学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校、家庭、地域が一体となって地域ぐるみで子どもを育てる体制を整えることを目的に、学校が必要とする活動について、地域からボランティアを募り、学校の教育活動を支援する。</li> </ul> <p>上記2事業が平成23年度より、「学校・地域連携事業」として一本化された県補助事業となっており、850,000円の補助金を、5：5で両事業へ振り分けを行った。</p>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	子ども権学習支援事業（活動実績）					
	活動名称	学校名	登録人数	実施回数	活動内容	担当課
	とんとんと太鼓	三郷中学校	16人	20回	和太鼓の演奏	生涯学習課
	茶華道クラブ	三郷中学校	13人	16回	茶道・華道の体験	教育総務課
	多聞クラブ	三郷小学校	19人	14回	ゲートボール体験	教育総務課
	ふれあいクラブ	三郷小学校	42人	14回	和太鼓の演奏	教育総務課 ふれあい交流センター
	親子で遊び隊	三郷小学校	29人	2回	デイキャンプ	教育総務課
	にこやかクラブ	三郷北小学校	12人	10回	手話コーラス	教育総務課
	つながり学級	三郷北小学校	64人	7回	軽スポーツ、お茶、調理実習など	生涯学習課
	各活動の指導には、地域住民や各種団体の方に協力をいただいた。					
<p>学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>この事業は、平成20年度から3年間の文部科学省委託事業で実施し、平成23年度からは町が実施主体となり補助事業で実施している。6年目となった平成25年度も、前年度までの活動実績を基本としながら下表のとおり、多様で充実した活動を行うことができた。</li> </ul>						
<主な活動実績>						
学校名	活動内容					
三郷小学校	緑化推進活動、登下校の安全確保、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、校区探検、そろばん学習支援、茶道学習支援、平和学習支援、多聞号清掃、プール水泳見守り、英語学習支援、家庭科実習支援、運動会準備、卓球・一輪車クラブ支援、音楽会楽器指導補助、昔遊び学習など					
三郷北小学校	緑化推進活動、登下校の安全確保、本の読み聞かせ、パソコン学習支援、校区探検、そろばん学習支援、琴と尺八の鑑賞・体験、米教育視察団の受け入れ支援（通訳・茶華道体験）、家庭科調理・ミシン実習支援、陸上記録会指導など					
三郷中学校	図書紹介・貸し出し・整理支援、家庭科被服実習支援、校舎内生け花の設置、小菊栽培、職業体験、サッカークラブ支援、バレーボールクラブ支援など					
<ボランティア登録人数>						
・個人登録：129人 団体登録：114人 合計：243人(前年度比+10人)						
<その他>						
内容	開催場所	開催日	参加人数			
天体観測会	三郷北小学校	8月14日	40人			
ボランティア給食会	三郷北小学校	1月21日	47人			
	三郷小学校	1月29日	13人			
天体観測会では月や土星の輪がはっきりと観測でき、参加いただいた方からは大変好評でした。三郷北小学校での給食会は、多くのボランティアの方々へ支援いただく学校事業の日に重ねて開催する事で非常に多くの方に参加いただくことができた。						

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>子ども人権学習支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちと地域社会を結びつける場所と機会を提供することで、世代間の交流や目標に向かって努力する姿勢を学ぶことができた。</li> <li>募集人数に対して、適切な人数の希望者となり、より良い環境で活動ができた。</li> <li>町民文化祭は、台風のため参加できなかったが、人権フェスタには出演することができた。(出演回数：のべ3回)</li> </ul> <p>学校支援地域本部事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業開始から6年目となり、登録者数の伸びは緩やかではあるが前年度比10人増と着実に増加している。100%国負担の国委託事業から、県の補助事業となり3年目を迎えたが、平成24年度と同様に事業の縮小を防ぐために町で予算計上を行う事で事業を継続することができた。</li> <li>同じ活動を行うボランティア同士でグループを組み、そのメンバーがそれぞれ知人などを誘う事で、今までに無かった形で事業に膨らみができている。</li> </ul>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)			
	子ども人権学習支援事業	参加人数(のべ)	人	2,451	2,008	H24	1,568,402	H25	1,620,574
学校支援地域本部事業1	ボランティア登録人数	人	233	243	H24	1,407,562	H25	1,235,259	
学校支援地域本部事業2	ボランティア参加人数(各学校計・のべ人数)	人	1,352	1,640	H24		H25		
上記 参加人数については、日常的なボランティア活動を含まない。						H24		H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>子ども人権学習支援事業の参加人数が少ない活動がある。 学校支援ボランティアの登録人数を増やす事。 ボランティアの種類によっては、本人が意欲的であっても活動が少ない場合がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶華道クラブは、中学生にとって日本文化を学ぶ良い機会となり今後も継続してほしいとの願いが強かったが、指導者の体調不良により継続が困難となってしまった。</li> <li>学校支援ボランティアに登録していただいているが、活動自体には全く参加されていない方が見受けられてきたので、登録者名簿の見直しが必要である。</li> </ul>
-------	---

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新しい学校支援ボランティアの募集パンフレットが完成。小・中学校の児童を通じて各家庭への配布や、各自治体に対し回覧することでより多くの町民に対して周知徹底させていき、新規登録者の増加を目指す。</li> </ul> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>茶華道クラブを指導していただく後継者の交渉にあたったがなかなか見つからず、事業内容の見直しや新しい分野の講座開設を検討する必要がある。</li> <li>コーディネーターと協力して長期間ボランティア活動に参加していない登録者の抽出を進めていく必要があるが、その登録者を名簿から抹消することによる登録人数の減少は免れられないと考えられる。</li> </ul>
------------	---

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども人権学習支援事業は、募集方法や内容を一部見直した上で継続する。</li> <li>学校支援地域本部事業については、前年度と同様にボランティア人数を増やす事を最優先事項とし、さらに充実させていく。</li> <li>平成23年度より、国委託事業から補助事業に移行となり補助額も減額となっている為、事業を後退させないよう、町事業として引き続き予算計上をしていく。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	安全・安心为学校づくり	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校と地域の連携を深め、「子ども見まもり隊」をはじめとした地域ぐるみの見まもり活動の展開を支援し、情報交換の場の設置を図ります。</li> <li>子どもの安全を守るため、パトロールや巡視などの対策を継続するとともに、不審者情報メールの配信を充実し、万が一の際にも迅速に対応できる体制の整備を図ります。</li> <li>園児・児童に対する防犯・交通安全教室を開催し、自ら身を守ることができる教育を進めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>子ども情報ネットさんごう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全確保を目指し、不審者情報等を登録者の携帯電話等にメール配信する。</li> <li>さんごう子ども見まもり隊</li> <li>学校と地域の連携により、自治会を中心とした住民ボランティアの皆様にご協力いただき登下校時の通学路の巡視を行う。</li> <li>上記にあわせてシルバー人材センターに委託し、小学校の下校時に安全巡視員を通学路に配置し、児童の安全確保を図る。</li> <li>青色防犯パトロール</li> <li>小中学校の下校時にあわせて、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施する。</li> <li>防犯・交通安全教室</li> <li>小学校及び幼稚園において、警察の協力により、防犯・交通安全教室を開催する。</li> <li>子ども110番の家(町長部局環境政策課所管事業：参考掲載「 」印で示しています。)</li> <li>子どもが犯罪などの被害に遭った、または遭いそうになったと助けを求めたとき、子どもを保護し、関係機関へ連絡するなどして、子どもの安全を守る。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>子ども情報ネット配信状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>不審者内容</th> <th>件数</th> <th>町内件数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>声掛け</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>つきまとい</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>露出</td> <td>5</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>痴漢</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>盗撮</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>傷害・犯罪</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>不審電話</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>【配信内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三郷町及び近隣町で発生した子どもに関わる事件や不審者情報を、登録者へメール配信する。</li> </ul> <p>【メール登録人数】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>児童や生徒の保護者、各種団体、関係団体などあわせて763人。(平成26年3月末現在)</li> </ul>	不審者内容	件数	町内件数	声掛け	3	3	つきまとい	1	1	露出	5	4	痴漢	2	2	盗撮	0	0	傷害・犯罪	0	0	不審電話	0	0	合計	11	10
	不審者内容	件数	町内件数																									
声掛け	3	3																										
つきまとい	1	1																										
露出	5	4																										
痴漢	2	2																										
盗撮	0	0																										
傷害・犯罪	0	0																										
不審電話	0	0																										
合計	11	10																										
<p>さんごう子ども見まもり隊</p> <p>【見まもり隊登録団体及び登録者数】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>登録団体の種類</th> <th>団体数</th> <th>登録者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自治会</td> <td>13</td> <td>164</td> </tr> <tr> <td>学校関係</td> <td>7</td> <td>115</td> </tr> <tr> <td>各種団体</td> <td>15</td> <td>170</td> </tr> <tr> <td>町議会</td> <td>1</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>町関係</td> <td>1</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>個人</td> <td>1</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>38</td> <td>479</td> </tr> </tbody> </table> <p>【子ども安全対策連絡会議】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域との連携及び情報交換を図る場として子どもの安全対策連絡会議を各学期ごとに年3回実施。</li> </ul> <p>下校時巡視委託</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>通学路の危険箇所安全巡視員(シルバー人材センター)を配置し、各学校の登下校時及び放課後児童クラブの下校時における交通指導及び巡視を行った。 三郷小学校：5人(うち放課後児童クラブ2人) 三郷北小学校：4人(うち放課後児童クラブ2人)</li> </ul> <p>青色防犯パトロール</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの安全を守るため、小中学校の下校時にあわせて、役場全課の交代制により、町内を巡回する青色防犯パトロールを実施した。 三郷小学校校区：年間47回 三郷北小学校校区：年間45回</li> </ul> <p>防犯教室など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各学校・幼稚園にて防犯教室を開催した。</li> <li>警察の協力により、新小学校1年生に防犯ブザーを配布した。</li> </ul> <p>子ども110番の家</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>登録世帯数：約700世帯(自治会、学校関係、各種団体など)</li> </ul>	登録団体の種類	団体数	登録者数(人)	自治会	13	164	学校関係	7	115	各種団体	15	170	町議会	1	10	町関係	1	9	個人	1	11	合計	38	479				
登録団体の種類	団体数	登録者数(人)																										
自治会	13	164																										
学校関係	7	115																										
各種団体	15	170																										
町議会	1	10																										
町関係	1	9																										
個人	1	11																										
合計	38	479																										

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町全体で子どもの安全対策に取り組んできた結果、昨年度に続き平成25年度においても、子どもの生命や身体に危害を及ぼす重大な犯罪被害はなかったものの、露出・痴漢といった性的な被害がでてきている。</li> <li>・学校や幼稚園では参加型の研修として防犯教室を毎年実施しており、児童たちにとっては自分の身を守ることに對する良い意識づけの機会となっている。</li> <li>・平成24年度から開始された町内通学路の危険箇所対策は、両校から挙げられた16箇所全て対策済みとなった。主な対策内容は路面の補修・カラー舗装や横断歩道の新設等である。</li> <li>・今後も継続して通学路の安全対策を進められる仕組みづくりとして、三郷町通学路安全プログラムを作成。</li> <li>・各校において、地震や特別警報などの災害発生時に備えマニュアルを見直し、全児童生徒に配布した。</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
		子ども情報ネット配信	メール登録者数	人	740	763
	子ども見まもり隊	見まもり隊登録人数 (累積人数)	人	476	479	H24 0 H25 30,220
	巡視委託	巡視回数(両小学校年間合計・延べ回数)	回	2,682	2,871	H24 2,231,388 H25 2,420,560
	青色防犯パトロール	パトロール回数	回	89	92	H24 0 H25 0
						H24 H25

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>子ども見まもり隊において、協力団体(地域)による温度差がある。 放課後児童クラブの下校時の見まもり隊の参加が少ない。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>新たな危険箇所ができた際、迅速に対応をしなければならない。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>継続して子ども見守り隊の登録者数の更なる増加を目指し、それにより地域格差を埋めていく。 放課後児童クラブの下校時間及び見まもり活動の必要性について関係会議等において周知し、子ども情報ネットさんごうへの登録をお願いしていく。 また、シルバー人材センター安全巡視員の人数について増員を考える。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>三郷町通学路安全プログラムを基に、PDCAの流れにそってスムーズに取り組んでいけるようにしていかなければいけない。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も町全体の取り組みとして、地域との連携を図り、事業の拡大を目指す。</li> <li>・子ども情報ネットや、子ども見守り隊への協力依頼・周知方法を再検討し、登録人数を増やすよう努める。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	学校給食体制の整備	担当課名	給食センター (教育総務課)	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化が進んでいる学校給食センターについて、建て替え事業を進めます。</li> <li>・「学校給食衛生管理基準」に則り、学校給食における衛生管理の徹底を図ります。</li> <li>・「食育」の一環として、学校・幼稚園における給食指導を継続します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p><b>安全安心の学校給食</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場の衛生管理そして職員の健康管理等を行うとともに、安全安心な給食材料を使用する観点から、より多くの地場産の野菜等を使用して安全安心の学校給食を提供する。</li> <li>・職員の資質向上を図るため、県の調理員研修に参加する。</li> </ul> <p><b>食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・正しい食事のあり方や望ましい食習慣を身につけ、食事を通して自らの健康管理ができるようにするために、食の指導の充実を図る。</li> </ul> <p><b>給食センターの建替事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食センターの建替計画に伴い、本町の実情に沿った先進的な給食センターとするため、まちづくり推進課と教育総務課、給食センターが協議を行い、新しい給食センターの設置に向け事業を進める。</li> </ul> <p><b>放射能測定器による食材検査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児、児童、生徒へ安全な食材を使用した給食を提供するため、政府の原子力災害対策本部が指示した出荷制限対象となる17都県を産地とする食材についての検査を実施する。</li> <li>また、食品中の放射性物質に係る国の検査基準値（セシウム134及びセシウム137の総和の量）は、一般食品が100Bq/kg以下。牛乳が50Bq/kg以下と示されているが、当町の検査の測定下限値は、すべて40Bq/kg以下とし測定下限値を超えた食材は使用しないことにより安心・安全な給食の提供に努める。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p><b>安全安心の学校給食</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内公立幼稚園・小中学校において、センター方式による学校給食を実施している。また、幼稚園・小中学校で保護者を対象に給食試食会を実施し、189人が参加した。</li> <li>・児童生徒に安全・安心な学校給食を提供するため、できる限り、国内産食材を使用し、また、地産地消の観点からも、県学校給食会推奨食品や信貴山のどか村の旬の野菜を積極的に使用した。</li> <li>・県が実施している調理員研修にも積極的に参加して、職員の資質の向上に努めた。</li> </ul> <p>学校給食衛生管理指導者実技講習会（8月6日(火)） 参加人数：2人          学校給食調理員研修会（8月21日(水)） 参加人数：8人          衛生管理・特定給食施設関係職員等研修会（9月5日(木)） 参加人数：2人</p> <p><b>食育の推進</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食育については、各学校で食に関する指導の全体計画を作成し、実践している。具体的には、生活科・家庭科・総合的な学習の時間における食に関する指導や給食に関わる指導を実施した。</li> </ul> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科等授業時間数： 9時間</li> <li>・給食指導時間数： 9時間</li> <li>・個別指導その他： 10時間</li> </ul> <p><b>給食費の滞納状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・徴収業務の内容は、文書による督促通知、及び電話・家庭訪問による交渉を行い、これらに応じない滞納者に対しては、最終通知として奈良簡易裁判所への支払督促申立等を行う旨を記載した文書の送付を行うなど、滞納の解消に努めた結果、昨年度より滞納繰越額が減少した。</li> <li>なお、最終通知に応じない滞納者が1件あり、奈良簡易裁判所へ支払督促の申立てを行った。</li> </ul> <p><b>【平成25年度末現在滞納状況】</b></p> <table> <tr> <td>滞納繰越額(平成21年度～平成24年度)</td> <td>809,700円(28人)</td> </tr> <tr> <td>徴収額</td> <td>571,800円(20人)</td> </tr> <tr> <td>平成25年度末滞納繰越額</td> <td>237,900円(9人)</td> </tr> <tr> <td>平成25年度分滞納額(現年度分)</td> <td>247,433円(10人)</td> </tr> <tr> <td>平成25年度滞納繰越額(合計)</td> <td>485,333円(19人)</td> </tr> </table> <p><b>給食センター建替事業</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・建替えに向けて、まちづくり推進課及び教育総務課、並びに給食センターが、安全安心な学校給食を提供するため調理機器等の導入について協議を重ね、学校関係者、園児、児童、生徒の保護者、栄養士等で構成する三郷町学校給食施設環境整備検討委員会を設置し環境整備等について協議を行った。</li> </ul> <p><b>放射能測定器による食材検査</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児、児童、生徒へ安全な食材を使用した給食を提供するため、平成24年3月1日より放射能検査測定器による食材検査を実施した。</li> </ul> <p><b>【検査数】</b></p> <table> <tr> <td>1学期</td> <td>114品</td> </tr> <tr> <td>2学期</td> <td>145品</td> </tr> <tr> <td>3学期</td> <td>91品</td> </tr> <tr> <td>合計検査数</td> <td>350品</td> </tr> </table> <p>放射性セシウム 不検出 すべて、40Bq/kg以下</p>	滞納繰越額(平成21年度～平成24年度)	809,700円(28人)	徴収額	571,800円(20人)	平成25年度末滞納繰越額	237,900円(9人)	平成25年度分滞納額(現年度分)	247,433円(10人)	平成25年度滞納繰越額(合計)	485,333円(19人)	1学期	114品	2学期	145品	3学期	91品	合計検査数	350品
滞納繰越額(平成21年度～平成24年度)	809,700円(28人)																		
徴収額	571,800円(20人)																		
平成25年度末滞納繰越額	237,900円(9人)																		
平成25年度分滞納額(現年度分)	247,433円(10人)																		
平成25年度滞納繰越額(合計)	485,333円(19人)																		
1学期	114品																		
2学期	145品																		
3学期	91品																		
合計検査数	350品																		

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地産地消の推進を図りつつ、安全安心な学校給食を実施できた。</li> <li>・夏休み等を利用し、調理員の研修を重点的に行い、資質向上を図ることができた。</li> <li>・給食試食会や食育指導事業を通じて、給食に対する理解が深められた。【成果指標】</li> <li>・給食費の滞納整理については、平成24年度の滞納繰越額809,700円から平成25年度の滞納繰越額は485,333円となり、平成24年度滞納繰越額に比べて、324,367円の減となった。</li> </ul> <p>徴収方法は、保護者の経済的理由により徴収困難であるケースも多いが、再三にわたる保護者との協議、及び各々支払期限毎の執拗な電話による確認作業、並びに家庭訪問による交渉である。【成果指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・給食センター建替事業については、まちづくり推進課と教育総務課、給食センターが協議を行い、三郷町学校給食施設環境整備検討委員会を設置し環境整備等について協議を行った結果、安全安心な学校給食の提供ができる給食センターの設計に繋がった。【成果指標】</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	給食試食会	参加人数	人	195	189	H24 - H25 -
食育指導	延べクラス数	クラス	24	29	H24 - H25 -	
給食費の滞納整理	滞納者数(年度末)	人	28	19	H24 809,700 H25 485,333	
給食センター建替事業	設計監理委託料	円	-	11,643,000	H24 - H25 次年度へ繰越	
食品放射能測定器による食材検査	年間検査数	品	277	350	H24 - H25 -	
					H24 H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>給食費の徴収については、現年度分の繰越が毎年発生しており、また、過年度分についても、減少できるよう、滞納者への交渉等をより一層強化する必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>給食センター建替事業に伴う三郷町学校給食施設環境整備検討委員会の協議の結果、食物アレルギー対応については、将来的に法改正等により義務化になることも念頭におき、食物アレルギー対応を実施することを想定して準備を進める旨、教育委員会に報告された。</p> <p>新給食センターの多面的な運用方法について協議を重ね、有効的な施設運用を行う。</p>
-------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>現年度分の繰越については継続的な課題であり、学校から保護者に働きかけるとともに、給食センターからも定期的に働きかけることとする。また、児童手当が支給されていることから、給食費を児童手当から引き落とす方法を周知する。</p> <p>過年度分の滞納で再三の督促に応じない滞納者に対しては、奈良簡易裁判所への支払督促の申立てを粛々とすすめ、給食費の滞納を解消する。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>食物アレルギー対応については、給食センター、学校、教育委員会、保護者が一体となり協議し進めるべき事業であるため、関係者が研修等を重ね食物アレルギーに対する知識を熟成させ、同時に実施に向けての方法や事故に対する対応方法を学びマニュアルを作成するなどの対策が必要である。</p>
------------	--

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も地産地消を推進し、安全安心な学校給食を実施する。</li> <li>・給食費の滞納整理については、引き続き学校と連携・協力しながら、現年度分の未納解消に努め、再三の督促に応じない滞納者には、法的措置を講じることで滞納の解消を図る。また、滞納が減らない要因には、生活保護申請前の滞納がある。この部分については、私債権を取り扱う課により、公債権のように不納欠損処分ができる内容の条例等の設置するなどの検討協議が必要である。</li> <li>・新たに建設される給食センターの運営について、現在は町が直接運営を行っているが、今後、民間委託も視野に入れ検討する。</li> </ul>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	幼児教育の充実	担当課名	南畑幼稚園 (教育総務課)	総合計画位置づけ	計画なし
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新幼稚園教育要領に基づく、適切な教育課程の編成を行います。</li> <li>・幼児の心身の発達と義務教育及びその後の教育の基礎を担う幼児教育の充実に努めます。</li> <li>・地域に信頼される開かれた幼児教育を推進します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児が、自然な生活の流れの中で直接的・具体的な体験を通して社会・文化・自然などに触れ、豊かな感性を育み、生きる力の基礎を培う環境の構成に努める。</li> <li>・幼児一人ひとりの特性に応じ、発達の課題を見極め、個々の成長を援助し、幼児期に育てるべきことを幼児期にふさわしい生活を通して育てることで円滑に小学校へ移行できるようにする。</li> <li>・保護者や地域の方々に信頼される幼稚園を目指して、幼稚園の機能を活かして預かり保育や園庭開放・教育相談を行い子育て支援に努める。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>バザー及び模擬店(やまびこ祭)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PTA事業として、協力体制・実施方法・改善方法をPTA役員と協議しながら7月13日(土)に実施した。</li> </ul> <p>奈良県教育週間(11月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奈良県幼稚園教育研究会による子ども作品展の実施、出展。</li> <li>・地域の教育力の向上と地域に開かれた幼稚園づくりを目的に、地域の方と保護者が保育参加する幼稚園ウィークを実施</li> </ul> <p>【内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>3歳児：親子で地元の良さをよりよく知るため、信貴山寺周辺の散策。</li> <li>4歳児：地域の方(のどか村)の指導を受けながら頂いたサツマイモのつるを使ってリース作り。</li> <li>5歳児：保護者と一緒に工夫しながら、動くおもちゃ作り。</li> </ul> <p>特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする園児への対応として、個別指導計画の作成と保護者や関係機関との連携に努めた。また、職員のスキルアップや幼児理解を深めることを目的に定期的に臨床心理士や作業療法士を講師にお招きして園内研修を行った。</li> </ul> <p>食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月一回、手作り弁当日を設定し、保護者に食育の大切さを考えていただく機会としている。</li> <li>・5月17日(金)、給食参観と重ねてPTA人形劇「ともとも」による食育に関する人形劇を親子で鑑賞した。</li> <li>・学校給食センター栄養士による、保護者参加の食育に関する講演会を実施した。</li> <li>・1月誕生会には、町栄養士会の方々に野菜嫌いが多い幼児の実態に合わせて、幼児向けに食育に関するお話をさせていただく。</li> <li>・5歳児が中心となり、園内菜園を行い、収穫した野菜でカレー作りをする。また、地域の方に筍掘りを体験させていただき、収穫した筍を調理したり、園内で園児が栗拾いをしたものをゆでて食べたり、梅の実を収穫して梅ジュースや梅干をつくるなど身近な食材にかかわる機会を多く持つようにした。</li> </ul> <p>子育て支援及び預かり保育</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育終了後に園庭を解放して、園児の成長を共有することから、保育内容の理解や家庭教育の啓発、子育て相談を行う「にこにこランド」を年間4回実施した。 (年間5回計画したうちの1回は積雪のため中止した)</li> <li>・家族の通院や介護、兄弟の授業参観等のほか、緊急的な保護者の就労時間の延長等も含めて、緊急又は臨時的に降園時刻以降の保育が必要な場合に、個々の事情にできる限り対応し、預かり保育を行った。</li> </ul> <p>A L Tとの交流(年間8回)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・年長児がA L Tの先生と一緒に歌や遊びなどの交流する中で、外国語や異文化に触れ、コミュニケーションの楽しさを感じることができる機会となった。</li> </ul>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>PTA事業のバザー及び模擬店は保護者の負担感が大きいなどの意見もあり、保護者の意識の変化により開催の仕方を検討する必要があると感じられるが、幼児にとっての教育的意義はもとよりPTA役員の開催以後の達成感につながっている。また保護者間の連帯感や関係作りに役立っているように感じられる。</li> <li>預かり保育については拡張を求める声もあるが、今のところ、現状維持で対応している。ただこれまでの預かり保育の一定条件から少し幅を持たせて、できる限りニーズに応えられるようにしていった。</li> <li>園庭開放「にこにこランド」は趣旨などを理解していただき、定着してきたと思われるが、実施日(5月28日(火))や時間帯が小学生の兄弟がいる家庭にとっては合わせにくい状況の場合もあるようだ。内容については、親子のふれあい遊びを多く取り入れたり、親子で楽しんでいただけるお話し会やフリータイムを設けて好きな遊びを楽しめるようにしたり、保護者にとっては教師と話をする時間として活用していただけるよう選択肢を広げるようにした。出来るだけ多く参加していただくために開催日を同じ曜日にならないような配慮を心がけた。</li> <li>地域の方の協力も得て店頭に並んでいる食材ではなく、収穫するところから体験することが出来たことは食欲にもつながるなど、食育はもとより、教育的意義が大きく貴重な体験となった。</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	預かり保育	実施回数	回	24	30	H24 H25
園庭開放「にこにこランド」	実施回数/参加人数	回/人	6/550	4/437	H24 H25	
					H24 H25	
					H24 H25	
					H24 H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>地域の実態や保護者の実情を考慮しながら、保育時間や日数、預かり保育について配慮すること。園庭開放「にこにこランド」では、実施日が限られてくるが、小学生の兄弟・姉妹をもつ家庭の参加は、下校時刻や習い事の送迎などの関係で参加したいのにできないという声も聞かれ、参加できる家庭が限定されることについてが今後の検討課題である。</p> <p>小学校の円滑な接続について充実を図るために職員の研修を重ねる必要がある。</p> <p>同じ町内の子どもを預かる施設として、幼保の連携は重要で積極的な意見交流や研修を重ねていく必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
-------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>保育時間拡張や預かり保育の弾力的な運用については厳しい状況であるが、できる限り柔軟に対応できるように人員の配置を含めて今後も検討していく必要がある。</p> <p>教師間交流が不十分だったため、円滑な幼小の接続を目指して幼児と児童の交流はもとより教師間交流や合同研修の機会が持てるような連携に今後も積極的に努めていく。</p> <p>同じ公立の保育園との連携を充実できるよう、園児の交流のほか、職員間の交流や合同研修などを不十分だったところを今後はさらに充実させていく。</p> <p>バス通園であることから、保護者への啓発や連携を密にするための方法を工夫する必要があるが、保護者の多様なニーズを聞き取りながら円滑にコミュニケーションを図るためにどのように対応していくかは今後も検討していく必要がある。保護者と信頼関係を築き、子どもを真ん中に据えてともに育ちについて考え合える関係を築いていく。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<p><input type="checkbox"/> 現状維持      事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 見直し      (内容)    <input type="checkbox"/> 予算拡充    <input type="checkbox"/> 予算削減    <input type="checkbox"/> 事業拡大    <input type="checkbox"/> 事業縮小    <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し    <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・今後も地域や保護者から信頼される幼稚園を目指し、職員の資質向上と教育内容の充実を図るために、情報収集を積極的に行い、スキルアップのための研修には積極的に参加をしていく。また、園内研修や検討会を多く持つことで職員間の共通理解や連携を図っていく。</p>
--------------	---

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	放課後児童クラブの充実	担当課名	教育総務課	総合計画位置づけ	第1章・第1節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>放課後や夏・冬休み時に子どもが集まって、学習や遊びを通して自主性や社会性・想像力を養えるよう放課後児童クラブを推進します。</li> <li>放課後児童クラブにおいて、障がいのあるなしに関わらず、ともに参加できるよう関係者の理解やボランティア活動の促進に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>放課後児童クラブの運営【県補助事業】 補助額6,794,000円</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>保護者が労働等により昼間家庭において保育できない児童に対し、適切な遊び及び生活の場を与え、その健全な育成を図ることを目的に、小学校の空き教室を利用して、町が運営主体となり、放課後児童クラブを設置する。</li> </ul> <p>対象：町内小学校に就学している概ね10歳未満（1年生～4年生）の児童          名称：三郷小学校放課後児童クラブ（定員70名）          三郷北小学校放課後児童クラブ（定員70名）          開所時間：学校授業日 午後2時～午後7時          学校休業日 午前8時～午後7時          休所日：土、日曜日及び祝日（年末年始）          7月・8月を除く、第2土曜日は事前申込制により開所。          育成料：毎月5,000円（ただし、要件を満たせば、申請により育成料の減免措置あり。）</p>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>入所人数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>放課後児童クラブ名</th> <th>入所人数(人)</th> <th>うち特別支援(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>三郷小学校放課後児童クラブ</td> <td>46</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>三郷北小学校放課後児童クラブ</td> <td>70</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>入所人数は年間平均</p>	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	うち特別支援(人)	三郷小学校放課後児童クラブ	46	3	三郷北小学校放課後児童クラブ	70	5
	放課後児童クラブ名	入所人数(人)	うち特別支援(人)							
三郷小学校放課後児童クラブ	46	3								
三郷北小学校放課後児童クラブ	70	5								
<p>製作</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>モノを作る楽しさ、自分で工夫し創造する楽しさを体感させるため、下記の製作を行った。また作品については、保護者等へのプレゼントにすることにより、日ごろの感謝の気持ちを表し、家族の絆を再確認できる機会となった。</li> <li>夏の製作：風鈴</li> <li>正月製作：祝い箸</li> </ul> <p>伝承遊び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日本に古くから伝わる遊びを通じて、日本の文化を再認識し、また友だちと集団で遊ぶ楽しさを実感させるため、冬期に下記の伝承遊びを実施した。</li> <li>こま、なわとび、けん玉</li> </ul> <p>指導員研修</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指導員の資質の向上を図るため、県の児童福祉施設等職員研修に参加した。</li> <li>内容 講演：発達障害のある子どもたちへの支援 遊びの広場への参加（遊びに関する知識を深め、子どもたちに遊びの奥深さを知ってもらう。）</li> </ul> <p>育成料の減免</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>低所得世帯の方を対象に、毎月の育成料の減免を行った。</li> <li>減免者数：25人</li> </ul> <p>特別な支援を要する児童の受け入れ及びボランティアの活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>放課後児童クラブでは、特別な支援を要する児童についても受け入れている。</li> <li>夏休み中、広報で募集した大学生のボランティア指導員（5人）</li> </ul>										

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	事業の成果、目的に対する達成度などを記入。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・入所者については、三小放課後児童クラブは、定員を70人に増員することで、待機児童はゼロとなった。</li> <li>・日々の通常保育だけでなく、製作や伝承遊びなどを盛り込み、保育内容の充実を図った。</li> <li>・平成23年度から導入した点数制による入所要件により、保育を本当に必要としている児童から順に入所していただくことができた。</li> <li>・保護者の勤務時間が閉所時間よりも長いケースに対応するため、閉所時間を、今までの午後6時迄から午後7時迄に変更することで解決を図った。</li> <li>・別事業で通学路の危険箇所対策を全て完了できたため、学童の集団下校についても一定の安全を確保することに繋がった。</li> </ul>					
成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	放課後児童クラブ運営	入所人数 決算額は運営費	人	97	116	H24 16,415,634 H25 20,588,411
	育成料の減免	減免者数	人	25	25	H24 H25
						H24 H25
						H24 H25
						H24 H25
事業の課題	【継続的な課題】 放課後児童クラブの下校時の安全確保が十分であるかどうかの検討を加える必要がある。 三郷北小学校放課後児童クラブは年度末まで待機児童を解消できなかった。					
	【新たな課題】 北小放課後児童クラブの定員増に伴い指導員も確保する必要がある。					

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	【継続的な課題に対する改善方法及び結果】 シルバー人材センターに委託している放課後児童クラブ下校時の付き添い人数を2人から4人に増員を行った。 平成26年度の定員増員に向けて、新たに北小放課後児童クラブ室を建設し、待機となる児童が出ないようにする。					
	【新たな課題に対する改善方法の検討】 北小放課後児童クラブ定員の増員に伴う、指導員の賃金等について予算要求・調整を行う。					

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止 <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の方に安心して児童を預けてもらえるように、指導員の質の向上に向けての指導と、新たに雇用を検討する時は、十分な知識と素養のある人を選ぶようにする。</li> <li>・北小放課後児童クラブの待機児童を解消するため、定員を120人にする。</li> </ul>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	生涯学習の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>時代に即応した町独自の学習の企画・開発に努め、より多様で充実した学習機会の提供を進めます。</li> <li>知識・経験をもった人材が生涯学習に活躍できるよう、各種講座へのボランティア派遣制の構築を図ります。</li> <li>各種団体、学校、企業などの協力を得ながら、住民ニーズに合った学習講座の開催と様々な情報提供システムの構築を図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>学習基盤の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域住民が主体的な活動により、心身ともに健康で豊かな人生をおくることができるよう、多様な分野における学習活動の場を提供する。</li> </ul> <p>地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>事業実施に伴い活動を担う指導者やボランティアの育成を図り、地域住民等の人材を活用するとともに、その団体やグループに支援を行う。</li> </ul> <p>各種学級事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主体的な学習を支援するため、学習に必要な講師等を招き住民ニーズに応じた各種学級を開講する。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>学習基盤の整備</p> <p>社会情勢や住民ニーズの情報を取り入れ、時代に沿った学習内容とする。</p> <p>各種学級の運営状況</p>						
	学級名	目的	事業内容	平成24年度		平成25年度	
				学級生数	開催回数	学級生数	開催回数
	家庭教育学級	地域社会の中で、子どもの家庭教育の重要性や役割を認識し、子育て等に関する学習の機会を通して、家庭の活性化を図るとともに、学級生のネットワーク機能を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>調理学習（伊達巻等）</li> <li>健康学習（病気予防体操等）</li> <li>教養講座（インテリア創作）</li> <li>施設見学（食品工場）</li> <li>子育て支援講座2回ほか</li> </ul>	26人	11回	22人	10回
	長寿学級	熟年者として、時代の流れに対応できる生き方・暮らし方を求めて自主的・意欲的な学習活動を通じて、生き甲斐を感得する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>軽スポーツ（囲碁ボール等）</li> <li>健康学習（介護予防体操等）</li> <li>環境施設見学ほか</li> </ul>	127人	10回	114人	10回
	くれない学級	教養を高め自主的・意欲的な学習活動を行い女性としての生き甲斐を高める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>教養講座（創作学習）</li> <li>歩く会（路面電車沿線巡り）</li> <li>健康学習（介護予防体操）</li> <li>工場見学ほか</li> </ul>	47人	11回	37人	10回
	歴史教室	身近な歴史とふれあい個々の知識を深め心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地学習4回（須磨寺等）</li> <li>講義6回（徳川十五代将軍等）ほか</li> </ul>	91人	13回	77人	12回
みさと万葉学習会	万葉集の学習を通じ個々の知識を深めるとともに町の歴史と文化についても関心をもち心豊かにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>現地学習2回（三重県四日市市等）</li> <li>講義9回（大伴家持等）ほか</li> </ul>	54人	15回	54人	14回	
<p>5学級合同学習会として、7月6日（土）に「人権学習会」、2月13日（木）に「健康福祉学習会」を開催した。10月26日（土）に予定していた「教育講演会」は台風の影響により中止となった。</p>							

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>各種学習の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習学級として、「家庭教育学級」、「長寿学級」、「くれない学級」、「歴史教室」、「みさと万葉学習会」の5学級を開催した。【成果指標】</li> <li>各学級の運営は各運営委員会により事業内容等を検討するなど、学級の自主的な運営が実施できた。</li> <li>学習内容について、希望の講義や課題の把握のため、学級受講者にアンケートを実施した。</li> <li>家庭教育学級に関しては、昨今の子どもを取り巻く問題をテーマに取り入れ、講義を前編・後編と2回に分けて実施するなど、受講者からは、「子どもの心理、親の接し方がわかりやすく話していただき、とても参考になった。」という意見が多数あり、好評であった。</li> </ul> <p>地域住民等の人材の活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学級の開催における講師には、文化教室や各施設のボランティア団体等を活用し、地域の活性化が図られるとともに、町外の講師も招き、内容の充実に努めた。また、奈良県登録の講師を招き、他機関の人材も活用した。</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)			
	生涯学習学級	登録者数	人	345	304	H24	789,668	H25	736,369
						H24		H25	
						H24		H25	
						H24		H25	
						H24		H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>開催している生涯学習の学級がここ数年同じ内容で推移している。受講者には人気があり継続しているが、社会情勢や住民ニーズを的確にとらえながら新しい学級や講座の開催を検討することが必要である。生涯学習学級全体的に学級生が減少しており、学級の内容等を検討する必要がある。各種学級の参加者にアンケートを実施し、住民のニーズを反映する必要がある。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>各学級の学級生の高齢化や、担当する地区の広さから、地区役員の方々にこれまでと同様の業務を求めることが難しくなっている。</p>

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>学級や講座の開催については、アンケート等で学級生の希望等の把握に努めており、その結果も勘案し現行の体制(5学級制、自主運営、学習内容)で生涯学習を行っていく。ただし、それぞれの学級で毎年同じ内容の学習を繰り返すのではなく、新しいテーマや分野に積極的に取り組んでいく必要がある。学級生が減少している生涯学習学級の対策として、各学級で特徴を生かしたプログラム構成を提案し、PRしていく。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>地区役員に対して、自主運営からはずれない程度で負担軽減を検討していく。</p>

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可) (内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<ul style="list-style-type: none"> <li>住民が主体的に学習ができる学級運営を行う。</li> <li>地域の社会資源を掘り起こし活用する。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	青少年の健全育成	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第2節の
基本方向	・児童・生徒の健全育成のため、問題行動の解決に向けた地域ぐるみの取り組みを推進するとともに、関係機関と連携し、早期発見・早期指導の体制充実を図ります。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>青少年育成三郷町民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青少年問題の重要性に鑑み、関係機関および団体が緊密な協力により、広く町民の総意を結集し次代を担う青少年の育成を図る。</li> <li>親子のつどい</li> <li>・活力と創造性に満ちた青少年を育成するとともに、親子・地域社会等のふれあいを築くことを目的とする。教育講演会</li> <li>・次代を担う青少年の育成を図ることを目的として講演会を開催する。</li> <li>非行防止</li> <li>・有害図書類等に対する立入調査を実施(年1回)する。</li> <li>・巡回補導の実施及び関係団体の協力のもと、夏休み・春休みに町内の巡視を行う。</li> <li>成人式</li> <li>・新成人の門出を祝福するため「成人式」を開催する。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>青少年育成三郷町民会議 指導推進部会 幼保小中高の様子や長期休業期間の生活の様子などについて意見交換を行い、情報を共有すると共に各学校園に持ち帰り児童生徒等の指導にあたる。また、不登校については、地区別懇談会でも取り上げられ、学校だけの問題ではなく、町全体の問題として、地域のみなさんの理解が深められたことや暴力行為等による生徒指導の報告があり、学校、保護者、地域、関係機関等の連携が今まで以上に図る必要性が確認された。</p> <p>調査研究部会 本年度は、不登校問題について三郷町の施策として立ち上げられた不登校対策連絡会と学校現場の多大な努力と連携により、問題解決に向けた取り組みがなされています。その取り組みをより充実したものとするため、次の研修会を実施した。不登校生徒の自信回復、信頼関係の構築、そして当該生徒の自立を促すという教育実践に基づいた研修を受講しました。</p> <p>期 日 平成26年2月18日(火) 場 所 三重県津市 学校法人日生学園第二高等学校 講 師 岡島義信校長 演 題 不登校対策について 参加人数 36人</p> <p>啓発促進部会 町民会議の各種事業について、関係機関等に事業開催の案内やポスターの作成及び掲示を行った。</p> <p>地域活動部会 親子のつどいについて、実施場所を隔年で、信貴山農業公園のどか村とスポーツセンターで実施していたが今年度から毎年、信貴山農業公園のどか村での実施決定がなされ、関係機関と協議・連携を行い事業を実施した。開催日についても11月の第1日曜日(祝日の場合は、振替休日)と位置づけた。</p> <p>関係機関との連携 「三郷町要保護児童対策地域協議会」や「定例人推・児童館連絡会」と連携を図り、幼児・児童生徒がおかれている現状を認識し、青少年の育成を図った。</p> <p>教育講演会 ・本年度は、台風の影響により中止となった。</p> <p>親子のつどい ・本年度は、参加家族みんなで野外炊飯・味覚狩り・ゲーム等の内容を充実し、楽しみながら親と子、子ども同士のつながりを図ることができた。</p> <p>期 日 平成25年11月4日(祝) 場 所 農業公園信貴山のどか村 参加人数 小学生 50人・5歳児 12人・5歳児未満 14人・保護者 64人 合計 140人</p> <p>非行防止 ・平郡町と三郷町合同による有害図書等の巡視を平成25年11月13日(水)に実施した。</p> <p>巡回補導 生駒郡4町合同で、平成25年10月26日(土)に実施した。</p> <p>巡視活動 関係機関の協力のもと、学校の長期休業期間に13回、町内を公用車において巡視した。 (巡視時間 20時~22時) 夏休み期間 7月23日(火)・25日(木)・30日(火)、8月1日(木)・6日(火)・8日(木)・20日(火)・22日(木)・27日(火) 春休み期間 3月25日(火)・27日(木)・28日(金)・31日(月)</p> <p>不登校対策 ・学校内外の連携、協力をより重視して、個々の不登校児童生徒に応じたきめ細かな支援を行うため、6月26日(水)に三郷町不登校対策連絡会を設置した。</p> <p>成人式 ・三郷町文化センター及び三郷町スポーツセンターにおいて実施した。</p> <p>期 日 平成26年1月12日(日) 参加人数 177人</p>
---------	--

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>青少年育成三郷町民会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係機関の協力・連携を図り、各部会の活動も予定どおり行うことができ、青少年の育成が図られた。親子のつどい、教育講演会の経費について</li> <li>本年度は、親子のつどいのイベント内容を充実させた結果、前年度比で約10万円の経費増となり、教育講演会においては、中止に伴うキャンセル料が発生するなど、双方の事業経費合算額が前年度比で約5万円の経費増となった。</li> </ul> <p>親子のつどい</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年11月4日(祝)に実施し、140人の参加があった。【成果指標】</li> </ul> <p>教育講演会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度は、台風の影響により中止となり、成果分析ができなかったが、気象等の影響を考慮し、実施月の再検討が必要であることを確認した。</li> </ul> <p>非行防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>13回の巡視活動を行い、非行行為は見受けられなかったが、この巡視活動は、青少年の非行の未然防止策として効果ある活動と判断している。【成果指標】また、今後も引き続き、三郷町要保護児童対策地域協議会や地域・学校等との連携を図り、非行の指導にあたる。</li> </ul> <p>不登校対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三郷町不登校対策連絡会が設置され、不登校児童生徒の指導体制をより一層充実させるため、9月から週3回、非常勤職員として不登校専門の指導主事1名を三郷中学校に配置し、当該児童生徒への通学支援、学習支援を図った。</li> </ul> <p>成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者242人に対し参加者が177人、出席率としては前年度61.1%であったが、本年度は73.1%となり12ポイント上がった。【成果指標】</li> </ul> <p>青少年の育成については、単純に分析することは困難であるが、年々、家庭・学校・地域・行政の協働と連携の強化は図られており、非行行為の早期発見、的確な助言及び指導を通じて非行行為の未然防止及び問題解決に努めています。特に本年度は、不登校について、町施策として三郷町不登校対策連絡会を設置し、学校だけの問題ではなく、町全体の問題として、地区別懇談会でも取り上げられるなど、学校、保護者、地域、関係機関等の連携が今まで以上に図られた。</p>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)	
	親子のつどい	参加人数	人	119人	140人	H24	543,411
	教育講演会	参加人数	人	194人	中止		
	非行防止巡視	巡視回数	回	12回	13回	H25	598,579
	成人式	参加人数	人	138人	177人	H24	195,834
H25						235,148	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>非行防止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>巡視において青少年に対して指導は行うが、補導等の権限がなく警察との連携が必要となっている。</li> </ul> <p>成人式</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者が少なく、参加率の向上が必要である。</li> </ul> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p>
-------	--

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>警察との連携として、所轄の警察署に引き続き巡視時に同行を依頼するとともに、非行防止巡視において青少年に対して指導を行うと共に、関係機関に青少年への有害物の販売等自粛要請をおこなった。また、同町民会議委員でもある少年補導員や青少年指導員へ、より一層の協力を求めた結果、13回の非行防止巡視活動に双方のどちらか一方の同行が得られた。</p> <p>成人式について、開催日時の早期決定や啓発活動を行った結果、参加率の向上が図られた。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	<p>事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	
<p>・青少年の育成は地域の協力が必要不可欠であり、今後も関係機関等が連携を密に図りながら取り組みを行う。</p>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	人権教育・啓発の推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第4章・第1節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>住民の自発的な啓発活動を促進するため、情報や学習機会の提供などの支援を強化するとともに、学校教育や社会教育を通じて人権教育の内容の充実を図ります。</li> <li>行政、関係機関・団体の連携によって、住民の立場に立った、利用しやすい人権相談窓口と体制の充実を図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育を受ける権利を保障されなかった方に文字などを学習する機会を提供する。</li> </ul> <p>人権教育地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>暮らしの中にある疑問や不合理などを話し合い、人権問題を身近な問題としてとらえ人権確立を図る。</li> </ul> <p>人権問題学習セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権教育の推進を図るための人権問題学習セミナーを実施する。</li> </ul> <p>人権に関わる相談や対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権に関わる相談や人権侵害事象に対応するため、関係機関と連携を図りながら問題解決を行う。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎週月・木曜日の午後5時30分より学級を実施した。学級生は学習意欲が高く、熱心に学習した。登録者数：5人</li> <li>学習内容は、文字の練習、数字の計算等を実施した。</li> </ul> <p>人権教育地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本年度の地区懇は、本町小・中学校の不登校児童・生徒の厳しい実態と学校・教職員の不登校対応状況をうけて地区懇も協働し、「子どもの人権について～不登校を考える～」をテーマとして、15会場で開催した。地区懇では、参加者に「不登校」及び「本町の実態と不登校対策」を理解してもらい、少しでも改善するよう学校・教育委員会・町行政とともに地域も一緒になって自分にできること、地域でできることについて考えていただいた。</li> <li>延べ参加人数：585人</li> </ul> <p>人権問題学習セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>5回のセミナーを行った。</li> <li>3回の講演は、「いのち・じんけん・あい～心に響く語りをめざして～」、「子どもたちの不登校について考える」、「家族の絆・地域の絆・紡いできた人生を活かすことを」という演題で開催した。</li> <li>2回の現地学習は、「京都市人権資料展示施設 ツラッティ千本・立命館大学 国際平和 ミュージアム」、「吉野町のNPO法人 自然流自立塾 NOLA他」で開催した。</li> <li>延べ参加人数：321人</li> </ul> <p>人権に関わる相談や対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人権問題啓発活動推進本部、人権教育推進協議会などの関係機関と連携を図り、「第25回人権を確かめあう日 県内一斉集会」、「差別をなくす町民集会」などの人権に関わる事業を共に行った。</li> <li>随時人権相談に応じるとともに、三郷町要保護児童対策地域協議会などとも連携を図り、問題解決にあたった。</li> </ul>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>識字学級</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>年間通して(夏・冬・春休みを設定)週2回実施しているが、学級生の都合により休校の日もあって年間で69回の開催となった。学級生は学習する喜びを感じながら、取り組んでいる。【成果指標】</li> </ul> <p>人権教育地区別懇談会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者は前年度より若干減少したが、今年も本町における身近な人権問題をテーマに掲げ、住民の方々に学習の場を提供することができた。【成果指標】</li> </ul> <p>人権問題学習セミナー</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今年も「いのち」「不登校」「絆」「平和」「まちづくり」といった、様々な人権問題をテーマとして取り上げた。参加者は、前年度に比べ増加した。【成果指標】</li> <li>人権に関する相談や対応</li> <li>差別落書き1件、差別発言2件が発生し、関係機関と連携を図りながら対応した。</li> </ul>
------------	--

事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)	
成果指標	識字学級	実施回数	回	69	69	H24 12,840
						H25 12,090
	人権教育地区別懇談会	参加者数	人	600	585	H24 397,250
						H25 407,535
	人権問題学習セミナー	参加者数	人	303	321	H24 271,300
H25 239,300						
					H24	
					H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>識字学級については、対象者が年々減少している状況とともに、学級生が高齢で健康上の理由などにより、活動が続けられなく可能性がある。</p> <p>人権教育地区別懇談会については、ここ数年一定の参加者はあるが、一部の地域を除き大部分の地域で参加者の固定化、高齢化といった課題を抱えている。</p> <p>人権問題学習セミナーについては、ここ数年参加者は増加しているが、今後も取り上げるテーマ・内容等の工夫が必要である。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>人権教育地区別懇談会について、14の自治連合会単位で実施しているが、それぞれの地域の住民構成の違いが顕著になってきており、統一テーマで実施することに多少の無理が生じてきている。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>識字学級については、学級生の諸事情を考慮しながら学級運営をしていく。</p> <p>人権教育地区別懇談会については、参加者のニーズを十分把握するとともに、実施に当たっては自治会長さんと綿密に連携を図りながら協力して進めていく。</p> <p>人権問題学習セミナーについては、その時々々の社会情勢や本町の実態を勘案したテーマの選定に心がけ、学習形態も講演一辺倒にならないよう工夫する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>人権教育地区別懇談会について、開催時に実施している参加者のアンケートや総括会議等での意見を今後も大切にしながら、計画立案していく。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・人権は誰もが持っている普遍的な権利であり、人権が尊重される地域社会を目指すため、情報や学習機会の提供を図るとともに、今後も人権相談等の体制を充実する。</p>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	文化センターの充実	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>講座修了のグループが、個々の活動を自主的に展開できるよう、コーディネート体制の確保を図ります。</li> <li>施設の有効利用を図るため、使用料の設定など、運営の改善に努めます。</li> <li>施設の機能向上を図るため、利用者のニーズにあった改修を計画的に進めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>グループ活動の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主的な文化活動を行うグループなどに対し、有意義な活動ができるよう支援を行う。</li> <li>各種講座の開設</li> <li>文化センターにおいて、町民の芸術文化に対する関心を高めてもらうため、文化講座、健康講座等を実施する。</li> <li>指定管理者の指定</li> <li>民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実した施設管理を行うため、公益財団法人三郷町文化振興財団を指定管理者に指定する。それにより当該財団の自主事業との相乗効果が期待できる。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	文化講座・健康講座		[単位/人]		
			延受講者数		
			平成24年度	平成25年度	
	1	バッチワーク&お針物	基礎的な技法を学び日常小物から個別に実習をします。	101	162
	2	声楽教室	発声練習と親しみやすい日本歌曲を歌います。	257	366
	3	ピアノ	初心者の方歓迎。基礎からメロディーまで学びます。	123	148
	4	着付け入門	着物の自装や帯結びなどマスターできます。	119	105
	5	茶道入門	楽しく礼儀作法を学び、お茶の心に親しみます。	57	53
	6	はじめての英会話	基礎から簡単な日常会話まで楽しくレッスンします。	115	125
	7	おしゃれ*パーソナルカラー	自分に合う色を知り、楽しい生活を彩ります。	101	133
	8	陶芸教室	食器、花器等の成型及び簡単な加工・釉掛けします。	49	42
	9	フラダンス	自然賛歌を全身で表現、心と体を癒します。	119	83
	10	社交ダンス	社交ダンスのステップやフォームを習得して、姿勢を整え、体を軽やかにします。		82
	11	キッズダンス	バレエ・ジャズダンス・柔軟で表現力を磨きます。	157	107
	12	楽しい寄せ植え	初心者の方の園芸のコツと、四季に応じた寄せ植えを実習します。	62	88
	13	男の料理教室	料理、始めてみませんか?作る楽しさ、味わいます。	101	62
	14	ふわふわパンと簡単デザート	ミキサーと手ごねで美味しいパンと簡単デザートの作り方を学びます。	89	94
	15	和菓子・ケーキ	基礎と理論を学びながら、四季折々のお菓子作りを楽しみます。	57	96
	16	囲碁入門	囲碁の打ち方、ルールおよび、歴史や文芸も学びます		69
	17	はじめてのパソコン	パソコンの仕組みや基本操作、インターネット検索を学びます。		149
	18	ワードの基礎	ワードの基本機能の学習から文書作成、案内状・チラシの制作まで学びます。		121
	19	文学・歴史・経済セミナー	文学2回、歴史2回、経済3回の計7回(文学は1回中止)	116	96
	20	入門太極拳	「入門太極拳」の8つの動作を学びます。	195	127
	21	ヨガ	全身の歪みを調整し、呼吸法で免疫力をアップします。	223	188
	22	ゆる体操初級	固まった身体をゆるりとほぐして血行を促します。	168	156
	23	ウェーブストレッチ/ピラティス入門	体内のコアな筋肉を鍛えて、全身を整えます。	113	154
	24	こどもフィットネス	手遊び・道具遊びで、楽しくリズム感を育てます。	105	133
25	気功	18式気功と座禅を学び、心身を整えます。	128		
26	ボディメイク	筋力を高めて、美しいカラダを創ります。	114		
27	健康ストレッチ	ダンスのステップを用いて全身のストレッチを行います。	111		
		合 計	2,780	2,939	
文化センター利用者数		[単位/人]			
		平成24年度	平成25年度		
	・文化ホール	8,592	10,727		
	・展示ホール・ロビー	3,927	6,385		
	・会議室・研修室・音楽室	25,278	24,858		
	・創作室・和室・茶室・視聴覚室	15,439	16,055		
	・その他(リハーサル室ほか)	10,253	11,471		
	合 計	63,489	69,496		

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>文化講座・健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成25年度は、講座を平成24年度から1講座増やし、文化講座と健康講座を合わせて24講座を実施し、延べ2,939人の方々が参加された。受講者数が前年度比で5%以上増加していることから、当初の目的であった内容の充実を図ることによって多くの受講者を得るということは達成できた。【成果指標】</li> </ul> <p>文化センター利用状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>平成23年度、24年度と利用者数が減少していたが、平成25年度においては大幅に増加した。文化ホール、展示ホール、ロビーの利用者が大きく増加しており、元々利用の少ない施設の使用を増やす目的は達成できた。【成果指標】</li> </ul>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
	文化教室 (決算額は文化教室講師謝礼及び委託料)	参加者数	人	2,780	2,939	H24 2,589,000 H25 2,477,500
文化センター (決算額は指定管理委託料)	利用者数	人	63,489	69,496	H24 37,278,864 H25 37,331,401	
					H24 H25	
					H24 H25	
					H24 H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>経年劣化による不具合や故障が頻発しており、計画的に改修する必要がある。</li> </ul>
	<p>【新たな課題】</p> <p>施設の電気代の上昇</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>電気料金の値上げや消費増税の影響で、文化センターの電気代が上昇している。文化ホールや展示ホール、ロビーは照明や音響機器の関係で特に電気使用量が大きいので、利用が増えれば増える程、大幅な電気代の上昇に繋がる。</li> </ul>

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>施設の修繕については、緊急度と財政状況を勘案しながら計画的に改修する。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>夏季、冬季における空調機器の使用について、施設利用者に対し規定のとおり周知徹底する。また、照明や音響機器を取り替える際に、より電気使用量の少ない機器への取り替えを検討する。</p>

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<p>事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p> <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>指定管理者の指定により一定の成果があることから、今後も教育委員会事業と文化振興財団事業の連携により住民の自主的な文化活動の支援体制を強化する。</li> </ul>
	<input type="checkbox"/> 見直し	

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	文化活動への支援	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化活動団体について、地域の文化活動を支える人たちを掘り起こし、それぞれに魅力を持たせ、会員の輪を広げていきます。</li> <li>今後も、文化活動団体育成のための支援に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>いろいろな分野から生涯学習の指導者等を掘り起こし、文化活動はもとより身近な生活課題や地域づくり等につながる学習活動の支援ができるシステムを整備する。</p> <p>三郷町各種団体等運営補助金交付要綱に基づき、各種団体の活動及び運営に要する経費を予算の範囲内で補助金として交付し、文化の振興及び向上を図る。</p> <p>三郷町文化協会 三郷町地域婦人団体連絡協議会 三郷町子ども会連合会 三郷町民文化祭実行委員会 三郷町芸術祭美術展実行委員会</p>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>生涯学習の指導者等の活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習の学級や子ども人権学習支援事業の講師の選定において、地域の団体・個人と連携を図ることに より指導者の掘り起こし及び講師としての協力を得ることができた。</li> <li>家庭教育学級 5回（健康体操、調理学習、体験学習等）</li> <li>長寿学級 6回（健康体操、体験学習等）</li> <li>くれない学級 5回（健康体操、調理学習、教養講座等）</li> <li>三郷町子ども人権学習支援事業 6回（グラウンドゴルフ、ゲートボール、調理体験等）</li> </ul> <p>団体への助成</p> <p>三郷町文化協会（補助金額：320,000円） 目 的：町の文化活動の中核団体として、文化の振興と向上、会員相互の親睦を図り、かつ個人の教養を高める。 主な事業：総会、文化協会まつり、人権学習会を開催し、随時役員会を開催。 第45回三郷町民文化祭の運営に協力（文化祭自体は中止）するとともに、研修会等を開催し会員の知識の向上を図ることができた。</p> <p>三郷町地域婦人団体連絡協議会（補助金額：200,000円） 目 的：会員相互の親睦を図り、教養を高め家庭生活の樹立と平和で民主的な社会の建設に努めるとともに、女性の地位向上を目指す活動の支援・協力をを行う。 主な事業：総会、環境学習等の学習会、町の各事業への参加、また、老人福祉施設へのボランティアを行った。</p> <p>三郷町子ども会連合会（補助金額：199,293円） 目 的：子どもたちの健やかな育成を図るとともに、三郷町子ども会連合会活動を通して地域の連帯力と子どもたち一人ひとりの社会生活能力を高める活動の支援・協力をを行う。 主な事業：総会、子ども会の日(8月8日(木))にプール遊び等を実施。他に、リーダー研修会、まぜこじりの会、どろんこあそびの会等を開催した。</p> <p>三郷町民文化祭実行委員会（補助金額：282,931円） 目 的：三郷町民文化祭の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：第45回三郷町民文化祭は台風の影響で中止。</p> <p>三郷町芸術祭美術展実行委員会（補助金額：349,849円） 目 的：三郷町芸術祭美術展の開催にかかる企画、準備、運営等を協議する。 主な事業：町民と近在住民の芸術に対する関心を高めるとともに、交流振興を図ることを目的に「第26回三郷町芸術祭美術展」を9月12日(木)～9月15日(日)に開催し、180点の作品が展覧され、859人の来場者があった。</p>
---------	---

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>生涯学習の指導者等の活用支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生涯学習を行う機会において、地域の指導者の協力を得て活用することにより、より活発な活動ができた。</li> </ul> <p>団体への助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>文化の振興、芸術の向上に寄与するため、各種団体に補助金を交付し所期の目的を達成できた。【成果指標】</li> <li>三郷町民文化祭実行委員会</li> <li>平成25年10月26日(土)・27日(日)に予定されていたが、台風の影響により中止となった。【成果指標】</li> <li>三郷町芸術祭美術展実行委員会</li> <li>平成25年9月12日(木)～15日(日)に第26回三郷町芸術祭美術展を開催し、180点の作品の出展のもと、町内外の文化の振興、芸術の向上が図られた。【成果指標】</li> <li>参加者にアンケートを実施したところ、多くの方が現行の開催方法で良いとの意見であった。</li> </ul>
------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
成果指標	各団体への補助金 (文化協会・婦人会・子ども会)	補助金額	円	818,000	719,293	H24 818,000
						H25 719,293
	三郷町民文化祭実行委員会	参加団体数	団体	81	中止	H24 662,438
						H25 282,931
	三郷町芸術祭美術展実行委員会	来場者数	人	855	859	H24 377,265
H25 349,849						
					H24	
					H25	

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>生涯学習の事業実施に伴い、地域に埋もれている指導者等の人材を掘り起こすシステムづくりが必要である。</p> <p>三郷町地域婦人団体連絡協議会については、会員数を増加し、組織力を強化する必要がある。</p> <p>三郷町文化協会に所属している下部団体の退会が多くなっている。新規入会を促すようなシステム作りが必要である。</p> <p>三郷町には文化活動推進を目的とする補助団体として、公益財団法人三郷町文化振興財団・三郷町文化協会・三郷町芸術祭美術展実行委員会・三郷町民文化祭実行委員会とあり、それぞれが独自で活動を続けていた経緯がある。しかし、現状ではどの団体においても会員や来客数を確保することに苦心しており、今後それぞれの活動を連携していく必要がある。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <p>三郷町民文化祭の運営にあたり人材が不足している。</p>
-------	---

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>文化センターで行っている文化教室などと情報交換を行い、地域の人材を把握できる体制が出来ている。</p> <p>婦人会の会員募集を引き続き、広報等で周知するとともに、暮らしの場に元気を生み出す(住民が相互に支えあい分かち合う精神を大切にする)活動など、会員の広がりにつながる活動を工夫する必要がある。</p> <p>三郷町文化協会に入会する魅力、利点を考える必要がある。</p> <p>各団体のイベントを共同で行う他、他団体の教室や研修会に積極的に参加をする。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>関係機関に人的な協力を依頼する。</p>
------------	---

#### 6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>地域に埋もれている貴重な人材掘り起こし、様々な学習活動の支援をいただくとともに、指導者の育成及び支援を合わせて行う。</li> <li>現在活動をされている団体・個人に対しても引き続き支援を行う。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	図書館の充実	担当課名	図書館 (生涯学習課)	総合計画位置づけ	第1章・第3節の
基本方向	・住民の生涯学習に対するニーズに応えるため、蔵書・資料の充実を図り、資料収集を継続します。 ・誰もが気軽に利用できる住民の学習、ふれあいと憩いの場とするため、各種館内サービスや行事の充実に努めます。				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	資料・情報の提供 図書、雑誌、新聞をはじめCD、DVDなどの音響・映像資料を含む各種の図書館資料を幅広く収集して子どもから高齢者まで様々な方々の求める資料を的確にできるだけ早く提供する。また、館内のインターネットアクセス端末によりネット情報の提供を行う。 子どもの読書の推進 絵本や児童図書の利用の促進（季節やテーマに沿った絵本の面展示〈表紙を見せる〉の実施、小中学生向け調べもの学習資料の充実）と共に、乳幼児向け（ブックスタート、ゆりかごおはなし会）、児童生徒向け（おはなし会、土曜の午後のおはなし会、夏・冬のつどい、本の森探検隊）などの年齢層に合わせた各種の行事を継続して行うことにより、子どもの読書の推進を図る。 生涯学習事業の推進 映画上映会（毎週土曜日）、大正琴やギターの演奏会のほか、講演会等を実施して、人々が集い、交流する生涯学習の場を提供する。
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	平成25年度統計	<table border="1"> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> <tr> <td>蔵書冊数</td> <td>231,344冊</td> <td>233,741冊</td> </tr> <tr> <td>入館者数</td> <td>200,483人</td> <td>190,890人</td> </tr> <tr> <td>貸出人数</td> <td>90,763人</td> <td>84,707人</td> </tr> <tr> <td>貸出冊数</td> <td>273,163冊</td> <td>254,885冊</td> </tr> <tr> <td>ネット延長人数</td> <td></td> <td>4,766人</td> </tr> <tr> <td>ネット予約人数</td> <td></td> <td>3,915人</td> </tr> <tr> <td>HPアクセス数</td> <td></td> <td>58,332回</td> </tr> </table>			平成24年度	平成25年度	蔵書冊数	231,344冊	233,741冊	入館者数	200,483人	190,890人	貸出人数	90,763人	84,707人	貸出冊数	273,163冊	254,885冊	ネット延長人数		4,766人	ネット予約人数		3,915人	HPアクセス数		58,332回																																																						
		平成24年度	平成25年度																																																																														
	蔵書冊数	231,344冊	233,741冊																																																																														
	入館者数	200,483人	190,890人																																																																														
	貸出人数	90,763人	84,707人																																																																														
	貸出冊数	273,163冊	254,885冊																																																																														
	ネット延長人数		4,766人																																																																														
	ネット予約人数		3,915人																																																																														
	HPアクセス数		58,332回																																																																														
	図書館来館者数400万人達成イベント	平成10年3月の図書館開館以来、400万人目の来館者に対し、平成25年8月17日（土）に町長、教育長、たつた姫により記念品を贈りイベントを実施した。																																																																															
	図書館行事	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">行事名</th> <th rowspan="2">概要</th> <th colspan="2">参加人数</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブックスタート</td> <td>7ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う</td> <td>159人</td> <td>195人</td> </tr> <tr> <td>ゆりかごおはなし会</td> <td>0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う</td> <td>156人</td> <td>148人</td> </tr> <tr> <td>おはなし会</td> <td>毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う</td> <td>811人</td> <td>696人</td> </tr> <tr> <td>土曜の午後のおはなし会</td> <td>土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う</td> <td>69人</td> <td>98人</td> </tr> <tr> <td>夏のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う</td> <td>60人</td> <td>69人</td> </tr> <tr> <td>映画上映会</td> <td>名作映画の上映会を実施した</td> <td>2,923人</td> <td>2,677人</td> </tr> <tr> <td>本の森探検隊</td> <td>テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ</td> <td>120人</td> <td>120人</td> </tr> <tr> <td>フロアコンサート</td> <td>年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った</td> <td>141人</td> <td>184人</td> </tr> <tr> <td>大人のためのストーリーテリング</td> <td>大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した</td> <td>20人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>四国八十八か所講演会</td> <td>四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした</td> <td>26人</td> <td>25人</td> </tr> <tr> <td>大正琴コンサート</td> <td>大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした</td> <td>200人</td> <td>172人</td> </tr> <tr> <td>ギター演奏会</td> <td>ギターのグループによる演奏会</td> <td>80人</td> <td>80人</td> </tr> <tr> <td>冬のつどい</td> <td>ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う</td> <td>47人</td> <td>61人</td> </tr> <tr> <td>図書館講演会「イースター島のEYIと自然環境」</td> <td>モアイ建造に伴う環境破壊についての講演会</td> <td></td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>ブックリサイクル</td> <td>除籍済の図書資料を住民に提供する</td> <td>832人</td> <td>969人</td> </tr> <tr> <td>ぬいぐるみのおとしょかんおとまりかい</td> <td>預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにして渡す</td> <td>14人</td> <td>15人</td> </tr> <tr> <td>絵本の読み聞かせ連続講座（全3回）</td> <td>絵本の読み聞かせを通して親子の絆を深める</td> <td>57人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ヤトガコンサート</td> <td>モンゴルの弦楽器「ヤトガ」による演奏会</td> <td>114人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		行事名	概要	参加人数		平成24年度	平成25年度	ブックスタート	7ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う	159人	195人	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う	156人	148人	おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う	811人	696人	土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う	69人	98人	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う	60人	69人	映画上映会	名作映画の上映会を実施した	2,923人	2,677人	本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ	120人	120人	フロアコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った	141人	184人	大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した	20人	30人	四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした	26人	25人	大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした	200人	172人	ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会	80人	80人	冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う	47人	61人	図書館講演会「イースター島のEYIと自然環境」	モアイ建造に伴う環境破壊についての講演会		30人	ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供する	832人	969人	ぬいぐるみのおとしょかんおとまりかい	預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにして渡す	14人	15人	絵本の読み聞かせ連続講座（全3回）	絵本の読み聞かせを通して親子の絆を深める	57人		ヤトガコンサート	モンゴルの弦楽器「ヤトガ」による演奏会	114人	
	行事名	概要	参加人数																																																																														
			平成24年度	平成25年度																																																																													
	ブックスタート	7ヶ月検診にあわせて赤ちゃんと保護者に絵本の世界に誘う	159人	195人																																																																													
	ゆりかごおはなし会	0～2歳の幼児と保護者対象に絵本の読み聞かせ・手遊びなどを行う	156人	148人																																																																													
	おはなし会	毎週日曜日に小さい子ども向け、大きい子ども向けに分けて絵本の読み聞かせやストーリーテリングなどを行う	811人	696人																																																																													
	土曜の午後のおはなし会	土曜日にお話しボランティアによって絵本の読み聞かせやストーリーテリングを行う	69人	98人																																																																													
	夏のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う	60人	69人																																																																													
	映画上映会	名作映画の上映会を実施した	2,923人	2,677人																																																																													
	本の森探検隊	テーマを設定した本を探して楽しみつつ本に親しむ	120人	120人																																																																													
フロアコンサート	年5回図書館の開架室でギターマンドリンコンサートを行った	141人	184人																																																																														
大人のためのストーリーテリング	大人向けにストーリーテリングの面白さを伝えるために実施した	20人	30人																																																																														
四国八十八か所講演会	四国霊場を徒歩で回られた方からの体験談をお聞きした	26人	25人																																																																														
大正琴コンサート	大正琴の素敵な音色で楽しい時間を過ごした	200人	172人																																																																														
ギター演奏会	ギターのグループによる演奏会	80人	80人																																																																														
冬のつどい	ペープサートや人形劇など子ども向けの行事を行う	47人	61人																																																																														
図書館講演会「イースター島のEYIと自然環境」	モアイ建造に伴う環境破壊についての講演会		30人																																																																														
ブックリサイクル	除籍済の図書資料を住民に提供する	832人	969人																																																																														
ぬいぐるみのおとしょかんおとまりかい	預かったぬいぐるみが図書館で遊んでいる姿をアルバムにして渡す	14人	15人																																																																														
絵本の読み聞かせ連続講座（全3回）	絵本の読み聞かせを通して親子の絆を深める	57人																																																																															
ヤトガコンサート	モンゴルの弦楽器「ヤトガ」による演奏会	114人																																																																															
レファレンスサービス	資料の所蔵調査や文献の調査などカウンターや電話、文書で寄せられる質問に対して、図書館資料を使って回答する。さらに県立図書情報館に協力依頼して回答を行う場合もある。 図書館のHPの充実を図り、インターネットにより蔵書の検索、予約、貸出期間の延長などを実施している。モバイル端末でも同様に検索、予約、延長が可能である。 課題図書コーナーを設置して小中学生の作文や宿題等の学習に役立てている。 役場の他の課と協力して非核平和の映画の上映及び関連図書の展示を行った。																																																																																

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>資料・情報の提供 約5,200冊の資料を購入して、利用者に提供したが、貸出人数、貸出冊数ともに前年を下回った(約6.6%減)。また、図書館への入館者数も5%の減少となった。【成果指標】一方、図書館システムの更新によるインターネット環境の整備により、ネットでの予約件数が昨年引き続き増加した。</p> <p>子どもの読書推進 乳幼児向け、児童生徒向けに年齢層にあわせて各種の事業を年間通じて実施した。参加者総数は前年度よりわずかに減少したが「おはなし会」「ゆりかごおはなし会」以外の子供向け行事は増加した。また24年度からブックスタートの絵本の選択数が増えたことは好評だったが、これで終わりにせずより絵本の有用性を伝え図書館に関心を持ってもらう必要がある。【成果指標】</p> <p>生涯学習の推進 今年度は上映会や講演会の参加人数が減少してしまった。猛暑や大雨の日と重なったこともあるが住民がどのような映画や行事を望んでいるかを把握しきれていなかった。今後は住民に心えられるよう調査研究する必要がある。【成果指標】</p>
------------	---

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)	
	資料情報の提供	貸出冊数	冊	273,163	254,885	H24	10,479,382
子どもの読書推進	参加者数	人	1,436	1,402	H24	229,110	
生涯学習の推進	参加者数	人	4,393	4,167	H24	55,000	
					H25	30,000	
					H24		
					H25		

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>図書館を利用されていない方々に対していかに図書館を利用していただくかを検討する。 おはなしボランティアを増やすこと。 小中学校や保育所、幼稚園などとの連携を一層進める。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>インターネットの普及により自宅での検索や調べものができるようになり、調べ物のために図書館に来館される人が減った。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>施設の一部を町内のサークルに開放し展示会等のイベントをすることにより図書館に関心のない方々を呼び込む。また今までブックスタートは保健センターで行っていたが、絵本を受け取ってそのまま帰る方もいた。そこで26年度からは図書館で行い、その場で利用者カード作成と館内絵本の紹介を行うことにより今後の利用に繋げていく。</p> <p>昨年度からボランティア育成を目的に実施する絵本勉強会は、現在のところ数人の参加者に止まっている。今後とも継続して参加者を募るとともに「おはなし会」などの事業を担うボランティアの育成に努める。学校への団体貸出や図書館の見学会を継続するとともに、平成26年度から採用される学校司書の方と打ち合わせを重ねることにより、連携・協力の在り方を検討し、支援する。また、幼稚園には絵本や紙芝居の大量貸出しを行い、協力支援を進めており、今後も継続していく。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>レファレンス関連の資料を揃えて高度な調べものにも対応できるようにする。またネットを使わない世代(高齢者等)に図書館で調べ物を受付していることをアピールする。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民への資料情報の提供という図書館の基本的業務を確実に実施しながら、様々な行事を通じて図書館の魅力をアピールして、さらに多くの方々が図書や情報に触れ、親しむ環境作りをさらに進める。</li> <li>・小中学校図書室の機能充実を図るため、平成26年度から配置される学校司書と連携、協力し更に充実させるとともに学校図書室への支援を行い、児童・生徒の読書推進を図る。</li> <li>・住民が望んでいるものを把握するため聞き取り調査を行う。</li> <li>・スマホ等の新たなネット環境に対応できるようなシステムを構築する。</li> </ul>		

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	文化財の保護と活用	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第2章・第4節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国・県と連携しながら文化財保護に努め、案内看板・説明看板の整備など環境の整備に努めます。</li> <li>・民間団体による調査活動を支援するとともに、住民団体と協力して歴史的資料の発掘及び保全・管理をするための調査を進めます。</li> <li>・文化財の保全・管理・展示を行う郷土資料室のあり方について検討します。</li> <li>・ボランティアの育成に努めながら、地域の歴史にふれる機会の充実を図ります。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p><b>文化財の保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後世に継承すべき文化財の保護保存をしていくため、国・県等の関係機関と連携を図りながら町内の文化財の確認作業及び指定文化財等への保存助成、環境整備を行う。</li> </ul> <p><b>文化財の啓発・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内の文化財について広く町民等に啓発できるよう、企画立案する。</li> <li>・文化センター内に設置している「郷土資料室」の有意義な活用を図る。</li> </ul> <p><b>地域の歴史学習の機会の提供等</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の一環として、地域の歴史を学ぶ教室を開催する。また、歴史・文化財に係る地域のグループ等がより充実した活動ができるよう協力・支援する。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p><b>文化財の保護</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、町内には国指定重要文化財3点、県指定文化財1点、町指定文化財13点、国登録文化財1点がある。それぞれの文化財の保存及び活用については、その所有者と連携を図り適切な対応を行った。</li> <li>・町指定史跡である辻ノ垣内瓦窯跡の改修工事を行った。</li> <li>・遍照院シダレザクラ(町指定)の樹木消毒の維持管理経費の一部助成を行った。</li> <li>・(勢野)八幡神社本殿(国指定)の防火対策の意見交換を行った(国への補助請求含む)。</li> <li>・持聖院線刻薬師如来笠石仏(町指定)の移設にあたり経費の一部助成を行った。</li> <li>・奈良県からの委嘱により、定期的に町内文化財の巡視と適切な保護を行った。</li> </ul> <p><b>文化財の啓発・活用</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中央公園多目的広場に勢野東遺跡に関する石碑及び説明板の設置を行い、2月22日(土)に除幕式を行った。</li> <li>・上記の除幕式と併せて、勢野東遺跡出土石器の接合資料展示会を行い、7日間で515名が来場された。</li> <li>・地域に関する歴史の研究グループである「史学さんごう」編集の『三郷路ふるさと散歩』を、教育委員会にて改訂版の発行を行った。</li> <li>・指定・登録文化財を記載した文化財マップを改訂し、500部印刷を行った。</li> <li>・文化財保護週間に合わせ、地域に関する歴史の研究グループである「史学さんごう」と合同で、11月10日(日)に、文化財についての「史学さんごう文化講演会」を開催した。</li> <li>・町内に関連する万葉歌の啓発グループである「みさと万葉歌プロジェクト」と合同で、3月9日(日)に、万葉集についての「みさと万葉文化講演会」を開催した。</li> <li>・三郷小学校、三郷北小学校児童の文化センター郷土資料室への訪問があり、「史学さんごう」の協力のもと児童達に農具や古民具について説明を行った。</li> </ul> <p><b>文化・歴史学習の機会</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習の学級として「歴史教室」を開講し、身近な歴史等を学ぶ機会を提供した。</li> <li>・また、三郷町に関わる万葉歌が多く謳われていることをなどを踏まえ、「みさと万葉学習会」を開講し、万葉歌人の感性や歴史的な背景に触れた。</li> </ul> <p><b>埋蔵文化財</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成22年度の三郷中央公園多目的広場建設に伴い、約15,000年前の石器のアトリ工跡である「勢野東遺跡」が発掘されたことにより、平成23年度より5カ年計画で、勢野東遺跡発掘調査報告書の作成業務を奈良県に委託している。</li> </ul>
---------	---

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>文化財の保護・啓発・活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町所有の文化財の改修を行い、その他の指定文化財の維持管理に伴う経費を助成するとともに、町内の文化財の定期的な巡視を行うことにより、適切な文化財の保護が行えた。【成果指標】</li> <li>・中央公園多目的広場内に勢野東遺跡に関する石碑及び説明板を設置することで、文化財に普段かかわらない公園利用者にも文化財の存在を周知することができた。【成果指標】</li> <li>・文化財マップの改定版を発行することにより、多くの町内外の方に三郷町に関連する文化財の啓発・活用がなされた。【成果指標】</li> <li>・文化財保護週間に合わせ、教育委員会と住民団体である「史学さんごう」の共催で文化財講演会を行い大好評であったため、今後も上記団体と連携し講演会を開催する。</li> <li>・教育委員会と住民団体である「みさと万葉プロジェクト」の共催で「みさと万葉文化講演会」を行い大好評であったため、今後も上記団体と連携し講演会を開催することとなった。</li> </ul> <p>学級の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歴史教室」は77人、「みさと万葉学習会」では54人の登録があり、1年を通じて歴史文化に親しむことができた。</li> </ul>
------------	---

	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
成果指標	遍照院シダレザクラ保全	消毒業務	有無	有	有	H24 84,040 H25 61,320
	(勢野)八幡神社本殿保全	防火施設点検 (国補助額)	有無	有	有	H24 15,000 H25 15,000
	持聖院線刻薬師如来笠石仏改修	移築修繕	有無	無	有	H24 H25 300,000
	辻ノ垣内瓦窯跡改修(町所有)	修繕	有無	無	有	H24 H25 3,675,000
	勢野東遺跡石碑及び説明板設置	設置	有無	無	有	H24 H25 997,500
	文化財マップ印刷	印刷	有無	無	有	H24 H25 89,775

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>文化財台帳に記載されている町内の文化財について現状確認を行い、所有者と意見交換を行うことで文化財保護に努める。</p> <p>町内にて発見されている埋蔵文化財(勢野東遺跡含む)について、どのような活用をしていくか検討する必要がある。</p> <p>指定文化財に修理等の必要が出た場合、所有者が負担の上、国・県・町とそれぞれの指定に合わせて補助されるしくみとなっているが、現状では所有者の負担が大きくなっている。指定文化財を維持していくには長期間にわたる所有者の理解と協力が必要なことから、極力所有者の負担を減らす体制が必要である。観光担当部署と協議を行い、文化財や史跡と関連する案内板等の整備を行う。</p>
	<p>【新たな課題】</p> <p>事業が専門的になればなるほど、専門の人材が必要となってくるため、人材確保の方法を考える必要がある。</p>

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>住民団体等の協力のもと、定期的に訪問調査を行う。</p> <p>文化財保護審議会の意見を踏まえながら、町として維持管理できる形で活用方法を検討していく。</p> <p>文化財の所有者と定期的に意見交換を行い、それぞれの所有者の負担状況の確認を行う。また、負担が大きくなり過ぎないように、国・県へも補助を要望するとともに、町の補助制度の見直しも検討していく。</p> <p>訪問者にとって歩きやすく理解しやすい看板等を設置、整備し誘導を行う。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <p>各分野の専門員と意見交換を行い、連携を取れるようにしておく。</p>

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <p>事業の方向性について、現状維持が見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)</p>
	<input type="checkbox"/> 見直し <p>(内容) <input type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財を観光資源の1つとし、案内看板の補修、新設を行い地域の活性化を図る。</li> <li>・住民団体を活用し、定期的な文化財の調査から講演会等のイベントまで協力しながら行う。</li> <li>・国や県、他市町村の関係機関とも連携し、情報交換を行う。</li> </ul>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	生涯スポーツの推進	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>誰でも継続的に気軽に楽しめるスポーツの機会を提供するため、指導者やボランティアリーダーの育成に努めます。</li> <li>健康づくりや交流の場となる軽スポーツの普及に努めます。</li> <li>青少年のスポーツ活動の振興を図り、そのための環境整備や自主的な活動への支援に努めます。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>スポーツの推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スポーツを通して町民が生涯にわたり心身ともに健康な生活を営むため、三郷町体育協会や三郷町スポーツ少年団及び三郷町スポーツ推進委員などと連携し、スポーツを推進するとともに、身体づくり及び健康づくりを図る。</li> </ul> <p>軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分にあったスポーツライフの実現と競技の技量を身につけてもらうことを目的に、各種スポーツ等を実施する。</li> </ul> <p>「総合型地域スポーツクラブ」の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる「総合型地域スポーツクラブ」の創設を目指す。</li> </ul>
---------	--

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>スポーツの推進</p> <p>町民体育祭の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域社会がスポーツイベントを通じてスポーツに親しみ、町民の輪を広げることをテーマに、三郷町体育協会主催で三郷町スポーツ少年団や他の各種団体の協力のもと、10月13日(日)に三郷町立竜田運動公園において第43回町民体育祭を開催した。</li> </ul> <p>野球審判講習会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>盛んなスポーツの一つとして野球があるが、試合等の審判及び指導者の育成を行うとともに、ルール等の改正に対応するため、4月14日(日)に審判講習会を開催した。</li> </ul> <p>関係団体に補助金の助成</p> <p>【三郷町体育協会】</p> <p>目的：スポーツの普及振興と競技団体の育成強化を図り、町民の健康増進と体力の向上に努め、明るく活力ある地域社会づくりに寄与する。</p> <p>補助金額 2,240,000円</p> <p>【三郷町スポーツ少年団】</p> <p>目的：加盟団体の資質の向上を図り、スポーツ振興意欲を高める。</p> <p>補助金額 800,000円</p> <p>三郷町スポーツ推進委員</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子ども人権学習支援事業や福祉関係のイベントなどに出向き、スポーツ振興のため住民に対しスポーツの実技指導等を行った。</li> </ul> <p>軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三郷町体育協会主催で9月22日(日)に軽スポーツフェスティバルを開催し、軽スポーツの普及に取り組んだ。</li> </ul> <p>「総合型地域スポーツクラブ」の創設</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>6月9日(日)に体験型イベント(1回)、9月2日(月)から3月31日(月)までの間、体験教室(延べ136回)を次のとおり開催した。設立準備委員会会議は4月18日(木)から3月13日(木)まで12回行い関係機関との連携及び情報交換を行った。</li> </ul>
---------	---

体験型イベント・体験教室一覧

事業(教室)	対象	回数	延べ人数	講師名	内容
体験型イベント -わ(わ)スポーツフェスタ2- 6月9日(日)	全て	1回	100人	設立準備委員会	ソフトバレー 参加者の約7割が子どもです。
いきいき健康エクササイズ教室 9月3日(火)~3月25日(火)	一般・シニア	26回	192人	エアロピクスインストラクター 草野祥子	エアロピクス ・簡単なリズム運動と筋力・ストレッチを行います。
いきいき健康エクササイズ教室2 11月5日(火)~3月25日(火)	一般・シニア	19回	160人	エアロピクスインストラクター 草野祥子	エアロピクス ・簡単なリズム運動と筋力・ストレッチを行います。
子ども陸上教室 9月11日(水)~11月27日(水)	小学生	9回	189人	身体重心道陸上クラブ 萩原一郎 ・南出有加	陸上 ・陸上競技の身体動作を通じて、子ども達の「やりたい」「楽しい」という気持ちを大切に、運動感覚の発達を目指します。
キッズクラス・ボール遊び教室 9月2日(月)~3月31日(月)	幼児	21回	232人	日本体育協会公認指導員 公文剛一	ボール遊び ・幼児用のボールを使用し、投げたり、受けたり、蹴ったりすることを体験します。
キッズクラス・ボール遊び教室2 9月2日(月)~3月31日(月)	幼児	21回	346人	日本体育協会公認指導員 公文剛一	ボール遊び ・幼児用のボールを使用し、投げたり、受けたり、蹴ったりすることを体験します。
ゆったりヨガ教室 11月5日(火)~3月25日(火)	一般・シニア	14回	162人	ヨガインストラクター 奥田奈実	ヨガ ・ポーズにこだわらず、ゆったりとした深い呼吸で、体を無理なく伸ばします。
ゆったりヨガ教室2 1月7日(火)~3月25日(火)	一般・シニア	8回	56人	ヨガインストラクター 奥田奈実	ヨガ ・ポーズにこだわらず、ゆったりとした深い呼吸で、体を無理なく伸ばします。
カラダにやさしいヨガ教室 1月9日(木)~3月27日(木)	一般・シニア	9回	63人	ヨガインストラクター 三代澤理香	ヨガ ・基本的なポーズ等を呼吸に合わせて行い、体を隅々まで伸ばします。
カラダにやさしいヨガ教室2 1月9日(木)~3月27日(木)	一般・シニア	9回	81人	ヨガインストラクター 三代澤理香	ヨガ ・基本的なポーズ等を呼吸に合わせて行い、体を隅々まで伸ばします。
展開教室数:9教室 延べ数:イベント1回及び15教室		137回	1,581人		

4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>スポーツの推進及び軽スポーツ事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の社会体育の最大イベントである第43回町民体育祭を10月13日(日)に、三郷町立竜田運動公園において三郷町体育協会及び三郷町スポーツ少年団等の協力により開催した。【成果指標】</li> <li>・三郷町スポーツ推進委員が地域に出向き、軽スポーツ等の振興を図ることができた。</li> </ul> <p>関係団体に補助金の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「三郷町体育協会」及び「三郷町スポーツ少年団」に補助金を助成し、スポーツ振興に関わり育成及び強化を図ることができた。【成果指標】</li> </ul> <p>総合型地域スポーツクラブ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・6月9日(日)に体験型プレイイベント(ソフトバレー)、9月より体験教室(ボール遊び教室等)を開催した。プレイイベント1回の参加人数は100人。体験教室は5教室展開し延べ15教室136回開催。延べ1,481人が参加した。</li> <li>・このクラブの愛称を広報12月号で募集し、1月16日(木)に愛称を「元気 ひまわりクラブ三郷」に決定した。</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)	
		三郷町体育協会	補助金	円	2,139,268	2,240,000	H24
	三郷町スポーツ少年団	補助金	円	617,770	800,000	H24	617,770
	町民体育祭	補助金	円	923,222	916,358	H24	923,222
						H25	2,240,000
						H25	800,000
						H24	916,358
						H25	916,358

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>昨今、様々なニュースポーツが発案され行われていることから、本町においてもその種目の取り入れ方法を検討するとともに、既存の種目においても、競技人口が減少しているものがあり今後の運営の在り方を検討する必要がある。</p> <p>住民の主体的な運営により、すべての世代の住民が楽しめる「総合型地域スポーツクラブ」を創設する。「総合型地域スポーツクラブ」を創設する上で人件費などの町のバックアップ体制の確立が課題となっている。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「総合型地域スポーツクラブ」の教室によって受講者数に差がみられ、教室の内容や時間、実施場所など利用者のニーズを把握する必要がある。</li> </ul>
-------	---

5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>新しいスポーツ種目については、競技の目的・ルール等を十分把握し、実施市町村等へ出向くなど情報の収集及び分析を行い、地域への普及を検討する。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブ」の創設に向け、関係機関との連携及び情報交換を行い、設立準備委員会を立ち上げ、自主運営に向け準備中である。</p> <p>「総合型地域スポーツクラブ」を創設する上で人件費等の予算措置が必要となってくる。</p> <p>-----</p> <p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県スポーツ振興課に指導を仰いだり、他市町村のクラブに出向いて情報を交換するなどを行い、会員数増にむけて活動している。</li> </ul>
------------	---

6 今後の計画・方向性(PLAN)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	<p>(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止</p> <p>・誰もが親しみ楽しめるスポーツの普及を行うため、「総合型地域スポーツクラブ」の設立に向けて、設立準備委員会を中心に関係機関との協議や予算措置を図り、平成26年9月末のクラブ設立に向け準備を行う。</p>

# 平成25年度 教育に関する事務の点検・評価シート

## 1 基本事項

施策名	スポーツ施設の整備	担当課名	生涯学習課	総合計画位置づけ	第1章・第4節の
基本方向	<ul style="list-style-type: none"> <li>・より多くの人々が気軽に生涯スポーツを楽しめるよう、現有施設の有効利用を図り、誰もが利用しやすい施設改善を図ります。</li> <li>・将来的に、財政状況も考慮しつつ、自主的・主体的な総合型地域スポーツクラブの設置を検討します。</li> </ul>				

## 2 事業概要・目的(PLAN)

事業概要・目的	<p>スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の整備・充実を図るとともに、生涯スポーツと競技スポーツを連携し、運動能力向上の拡充に努めることを目的に、地域スポーツの振興と拡大及び社会体育を推進する。</li> </ul> <p>指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間の経営や事業展開のノウハウを活用し、より充実したスポーツ施設の管理運営を行うためスポーツセンター及びウォーターパークを合わせて管理運営を行う。</li> </ul>
---------	---

## 3 事業実績・結果(DO)

事業実績・結果	<p>スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各施設は、設置からかなりの年月が経ち、経年劣化により施設の維持修繕が必要になっていることから、修繕、改修を行い施設利用に支障のないよう安全安心な施設運用を行った。</li> </ul> <p>竜田運動公園</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー、テニス等 施設整備：テニスコート改修、真砂土の入替え、LED防犯灯設置等を行った。 (決算額：2,580,532円)</li> </ul> <p>勢野グラウンド</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が体育に関心を高め、その普及と向上発展を図るために設置。 利用種目：学童軟式野球、女子ソフトボール、少女ソフトボール 施設整備：真砂土の入替え、門扉の整備工事等を行った。(決算額：803,513円)</li> </ul> <p>スポーツセンター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツ及びレクリエーションの振興を図り、健康で文化的な生活の向上を図るために設置。 利用種目：卓球、軽スポーツ、少林寺拳法、健康体操、バレーボール等 施設整備：通路クラック改修、防火シャッター修繕等を行った。(決算額：1,218,000円)</li> </ul> <p>ウォーターパーク</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの振興及び体力の維持増進を図り、心身の健やかな発達と健康で明るい生活の向上を図るために設置。 施設整備：ろ過機改修、施設内時計の修理及び取替等を行った。(決算額：6,702,150円)</li> </ul> <p>中央公園多目的広場</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・住民の体力の維持増進を図り、心身の健やかな発達と健康で明るい生活の向上に寄与するために設置。 利用種目：成人及び学童軟式野球、ソフトボール、グラウンドゴルフ、サッカー等 施設整備：グラウンドの凍結防止工事、分電盤ふた取替工事を行った。(決算額：1,196,475円)</li> </ul> <p>指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・民間のノウハウを生かし効率的かつ効果的な施設運営を行うため、平成25年度から5年間スポーツセンター及びウォーターパークを合わせて(株)翔成へ指定管理を行った。 (指定管理料 平成25年度から平成29年度まで合計124,930,980円)</li> </ul> <p>施設利用状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">施設名</th> <th colspan="2">利用者数</th> </tr> <tr> <th>平成24年度</th> <th>平成25年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>健民グラウンド</td> <td>33,716人</td> <td>44,060人</td> </tr> <tr> <td>テニスコート</td> <td>9,369人</td> <td>8,945人</td> </tr> <tr> <td>中央公園多目的広場</td> <td>45,001人</td> <td>43,076人</td> </tr> <tr> <td>勢野グラウンド</td> <td>2,345人</td> <td>3,772人</td> </tr> <tr> <td>スポーツセンター</td> <td>75,780人</td> <td>74,907人</td> </tr> <tr> <td>ウォーターパーク</td> <td>65,019人</td> <td>74,335人</td> </tr> </tbody> </table>	施設名	利用者数		平成24年度	平成25年度	健民グラウンド	33,716人	44,060人	テニスコート	9,369人	8,945人	中央公園多目的広場	45,001人	43,076人	勢野グラウンド	2,345人	3,772人	スポーツセンター	75,780人	74,907人	ウォーターパーク	65,019人	74,335人
	施設名		利用者数																					
平成24年度		平成25年度																						
健民グラウンド	33,716人	44,060人																						
テニスコート	9,369人	8,945人																						
中央公園多目的広場	45,001人	43,076人																						
勢野グラウンド	2,345人	3,772人																						
スポーツセンター	75,780人	74,907人																						
ウォーターパーク	65,019人	74,335人																						

#### 4 点検評価・課題(CHECK)

達成度(成果)の分析	<p>事業の成果、目的に対する達成度などを記入。</p> <p>スポーツ施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・維持修繕や施設改修を行い、安全で安心な施設利用をしていただくことができた。【成果指標】</li> <li>・スポーツ施設の運用</li> <li>・スポーツ施設全体の利用者が増え、住民の体力の維持増進と健康で明るい生活の向上と充実が図れた。</li> </ul> <p>指定管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成21年度まではウォーターパークのみを指定管理としていたが、平成22年度からウォーターパーク及びスポーツセンターを合わせて指定管理とし、民間のノウハウを生かすことができ、効率的・効果的な施設運営と経費の削減を図ることができた。平成25年度から平成29年度までの5年間も引き続き、指定管理を行い、年間指定管理料が約3,000,000円削減された。【成果指標】</li> </ul>
------------	--

成果指標	事業名	成果指標名	単位	H24年度	H25年度	決算額(円)
		施設整備	決算額	円	21,407,059	12,500,670
	指定管理	指定管理料	円	28,000,000	24,980,000	H24 28,000,000 H25 24,980,000
						H24 H25
						H24 H25
						H24 H25

事業の課題	<p>【継続的な課題】</p> <p>施設の維持管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の経年劣化により、施設の不具合や故障が発生し維持管理が困難になっているため、計画的な施設改修等が必要である。特にテニスコートについては、一部改修を実施したが、使用に支障が生じており、全面張替えが必要となっている。</li> </ul>
	<p>【新たな課題】</p>

#### 5 改善方法・結果(ACTION)

課題の改善方法・結果	<p>【継続的な課題に対する改善方法及び結果】</p> <p>施設改修等については、財政状況を勘案し、緊急性の高いものから計画的に改修を行う必要がある。</p>
	<p>【新たな課題に対する改善方法の検討】</p>

#### 6 今後の計画・方向性(P L A N)

事業の計画・今後の方向性	<input type="checkbox"/> 現状維持	事業の方向性について、現状維持か見直しかを選択。見直しの場合は、内容をチェックする。(複数可)
	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し	(内容) <input checked="" type="checkbox"/> 予算拡充 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input checked="" type="checkbox"/> 事業拡大 <input type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> 手法見直し <input type="checkbox"/> 休止・廃止
<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民が望む生涯スポーツを推進するため、現体育施設の適正な維持管理及び施設整備を行う。</li> </ul>		

## 学識経験者の知見の活用

### 1. 点検評価有識者

平成25年度実施分の点検・評価を行うにあたり、客観性を確保するため、下記の学識経験者を点検評価有識者に委嘱し、7月にヒアリングを実施し、指導及び助言を受け、報告書に所要の修正を行った。

点検評価有識者：日本学生支援機構理事（大阪教育大学名誉教授）  
米川 英樹

### 2. 指導・助言の内容

なお、今年度の報告書の総括と次年度以降に改善すべき課題として、以下の指導及び助言をいただいた。

全体として、本年度の三郷町教育委員会の「教育に関する事務の点検及び評価」については、町の第4次総合計画に対応した妥当なものであり、評価できる。

また、すべての項目において、PDCAサイクルが機能しており、多くの事業において、年々事業内容とその評価に改善が見られる。

今回、指摘した内容は、たとえば、幼児教育の充実の施策における事業の計画・今後の方向性のより具体的な記述への変更、図書館の充実の施策における事業実績・結果へのネットアクセスの追加等、報告書の細部に関わる事柄であり、報告書全体の枠組みに関わるものではない。

また、これらの指摘に対して真摯に対応がなされ、指摘後の報告書の内容は満足できるものとなっている。三郷町教育委員会のパフォーマンスは着実に改善されつつあることを評価するものである。

ただし、教育施策に関わっては、教育内部の課題とともに教育外部からの問題や要請が常に存在し、それらへの目配りと対応が常に求められる。今後とも、教育施策の改善のための一層の努力と配慮をお願いしたい。

平成26年8月15日

米川 英樹